

三菱電機グラフィックオペレーションターミナル テクニカルニュース [1/34]

[発行番号] GOT-D-0018-H

[表題] GOT800, A77GOT, A64GOTシリーズからGOT1000シリーズへの置き換えのご案内と注意事項

[発行] 2008年2月 (2019年12月改訂H版)

[適用機種] GOT800, A77GOT, A64GOTシリーズ

三菱電機グラフィックオペレーションターミナル(GOT)に格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。皆様にご愛顧いただいておりますGOTの旧シリーズでありますGOT800, A77GOT, A64GOTシリーズにつきましては、既に1999年7月発行のテクニカルニュースPLC-D-358および2001年7月発行のテクニカルニュースPLC-D-406にて生産中止のお知らせをさせていただいております。GOT800, A77GOT, A64GOTシリーズにつきましては既に修理受付期間も終了しておりますので、機能・性能とも充実した新シリーズGOT1000シリーズへの置き換えを是非ご検討ください。

目次

1. お客様へのお願い	2
2. GOT本体の機種選択	3
2.1 A851GOTからGOT1000シリーズへの置き換えに関する注意事項	4
3. 通信ユニット・オプション	6
3.1 置き換え機種一覧	6
3.2 設定方法が変更になるユニット	7
3.3 後継機種のない通信ユニット, オプション	8
3.4 Aシーケンサとバス接続されたGOT800, A77GOT, A64GOTシリーズをGOT1000シリーズへ置き換え	8
3.4.1 シーケンサ, GOTの設定	9
3.4.2 通信形態	9
3.5 MELSECNET(II), MELSECNET/Bネットワークに接続されたGOT800, A77GOT, A64GOTシリーズをGOT1000シリーズへ置き換え	14
3.5.1 システム全体のネットワークをMELSECNET/Hへ変更しGOT1000シリーズへの置き換え	15
3.5.2 システム全体のネットワークを変更せず, シーケンサ-GOT間の接続形態を変更し, GOT1000シリーズへの置き換え	15
3.6 MELSECNET/10(PC間光ループ/PC間同軸バス)ネットワークに接続されたGOT800, A77GOTシリーズをGOT1000シリーズへの置き換え	16
4. ケーブル	17
4.1 バス接続ケーブル	17
4.1.1 現在ご使用中のケーブルの活用	17
4.1.2 複数台バス接続時のGOTの置き換え	17
4.2 RS-232ケーブル	18
4.3 RS-422ケーブル	18
4.4 ネットワークケーブル(MELSECNET/10, CC-Link)	18
4.5 その他のケーブル	18
5. 製品取付け間隔	19
5.1 GOT800, A77GOTシリーズ	19
5.2 A64GOTシリーズ	19
6. ケーブルの引き出し方向, PC(CF)カード装着方向	20
6.1 ケーブルの引き出し方向および位置	20

6.2	CFカード装着方向.....	21
7.	モニタ画面データ	23
7.1	モニタ画面データの流用.....	23
7.1.1	GOT800シリーズからGOT1000シリーズへのモニタ画面データの変換方法.....	24
7.1.2	A77GOT→GOT1000シリーズへの変換方法.....	27
7.1.3	A64GOT→GOT1000シリーズへの変換方法.....	28
7.1.4	データ変換に際しての注意事項.....	28
7.1.5	データ転送ツールとGOT800の通信で使用可能なUSBシリアルアダプタ.....	28
7.2	モニタ画面データの互換性.....	29
7.2.1	データ互換一覧.....	29
7.2.2	GOT800シリーズとGOT1000シリーズのモニタ画面データの互換性.....	31
7.2.3	A77GOT, A64GOTシリーズとGOT1000シリーズのモニタ画面データの互換性.....	32
7.3	新たに設定が必要となる機能.....	32
7.3.1	プリンタ.....	33

1. お客様へのお願い

GOT本体の機種選択一覧では、各シリーズからGOT1000シリーズへの置き換え時に、仕様上の制約がない、または少ない機種を推奨機種としております。お客様のシステムでのご使用状況によっては、推奨機種以外の選択も可能となる場合もありますので、既存システムの仕様をご確認いただいた上で機種選択いただくようお願いいたします。

三菱電機グラフィックオペレーションターミナル テクニカルニュース[3/34]

[発行番号] GOT-D-0018-H

2. GOT本体の機種選択

置き換えるGOT本体の機種選定を行います。

各シリーズからGOT1000シリーズに置き換える場合、パネルカット寸法が異なりますので、アタッチメントを使用してください。また、一部の機種では、対応するアタッチメントが存在していません。以下にGOT1000シリーズへの置き換え推奨機種(本体)とパネルカット互換性一覧を示します。

表2-1 GOT1000シリーズへの置き換え推奨機種(本体)とパネルカットの互換性一覧

使用している GOT800, A77GOT, A64GOT シリーズ		移行を推奨する GOT1000 シリーズ *7*11	パネルカット 互換性 ○：互換有 ×：互換無	使用する アタッチメント	
A870GOT	A870GOT-EWS	GT1662-VNBA *10	×	GT15-60ATT-87	
		GT1562-VNBA	×	GT15-60ATT-87	
	A870GOT-SWS	GT1675-VNBA *10	×	GT15-70ATT-87	
		GT1575-VNBA	×	GT15-70ATT-87	
	A870GOT-TWS	GT1675M-VTBA	×	GT15-70ATT-87	
		GT1575-VTBA	×	GT15-70ATT-87	
	A8GT-70GOT-EW, A8GT-70GOT-EB	A8GT-PWEL使用時	GT1662-VNBA *10	×	GT15-60ATT-87
			GT1562-VNBA	×	GT15-60ATT-87
		A8GT-PW24使用時	GT1662-VNBD *10	×	GT15-60ATT-87
			GT1562-VNBD	×	GT15-60ATT-87
	A8GT-70GOT-SW, A8GT-70GOT-SB	A8GT-PWST使用時	GT1675-VNBA *10	×	GT15-70ATT-87
			GT1575-VNBA	×	GT15-70ATT-87
		A8GT-PW24使用時	GT1675-VNBD *10	×	GT15-70ATT-87
			GT1575-VNBD	×	GT15-70ATT-87
	A8GT-70GOT-TW, A8GT-70GOT-TB	A8GT-PWTF使用時	GT1675M-VTBA	×	GT15-70ATT-87
			GT1575-VTBA	×	GT15-70ATT-87
		A8GT-PW24使用時	GT1675M-VTBD	×	GT15-70ATT-87
			GT1575-VTBD	×	GT15-70ATT-87
	A810GOT	A810GOT-CS	GT1675M-STBA *1	×	なし
			GT1575V-STBA *1	×	なし
A8GT-10GOT-C		A8GT-PWTF使用時	GT1675M-STBA *1	×	なし
			GT1575V-STBA *1	×	なし
		A8GT-PW24使用時	GT1675M-STBD *1	×	なし
			GT1575V-STBD *1	×	なし
A850GOT	A850GOT-LWD(-M3), A850GOT-LBD(-M3)	RS-422接続時	GT1550-QLBD *2	×	GT15-50ATT-85
		通信ユニット使用時	GT1550-QLBD *9	×	GT15-50ATT-85
	A850GOT-SWD(-M3), A850GOT-SBD(-M3)	RS-422接続時	GT1555-QSBD *2	×	GT15-50ATT-85
		通信ユニット使用時	GT1555-QSBD *9	×	GT15-50ATT-85
A851GOT	A851GOT-LWD(-M3), A851GOT-LBD(-M3) *8	GT1550-QLBD *3	×	GT15-50ATT-85	
	A851GOT-SWD(-M3), A851GOT-SBD(-M3) *8	GT1555-QSBD *3	×	GT15-50ATT-85	
A852GOT	A852GOT-LWD(-M3), A852GOT-LBD(-M3)	GT1550-QLBD *4	×	GT15-50ATT-85	
	A852GOT-SWD(-M3), A852GOT-SBD(-M3)	GT1555-QSBD *4	×	GT15-50ATT-85	
A853GOT	A853GOT-LWD(-M3), A853GOT-LBD(-M3)	GT1550-QLBD *5	×	GT15-50ATT-85	
	A853GOT-SWD(-M3), A853GOT-SBD(-M3)	GT1555-QSBD *5	×	GT15-50ATT-85	
A77GOT	A77GOT-CL, A77GOT-CL-S3, A77GOT-CL-S5	GT1662-VNBA *10	×	GT15-60ATT-77	
		GT1562-VNBA	×	GT15-60ATT-77	
	A77GOT-EL, A77GOT-EL-S3, A77GOT-EL-S5	GT1662-VNBA *10	×	GT15-60ATT-87	
		GT1562-VNBA	×	GT15-60ATT-87	
	A77GOT-L, A77GOT-L-S3, A77GOT-L-S5	GT1662-VNBA *10	×	GT15-60ATT-77	
		GT1562-VNBA	×	GT15-60ATT-77	
A64GOT	A64GOT-L *2	GT1550-QLBD	×	なし	
	A64GOT-LT21B *2*6	GT1550-QLBD	×	なし	

三菱電機グラフィックオペレーションターミナル テクニカルニュース[4/34]

[発行番号] GOT-D-0018-H

*1 A810GOTはCRT等表示機器出力専用GOTです。GOT1000シリーズにはCRT等への表示器機出力専用GOTはありません。GOT1000シリーズへの置き換え時は、ビデオ/RGB対応のGOT1000シリーズを使用し、RGB出力ユニットを接続して、ご使用ください。

GOT1000シリーズ用RGB出力ユニットは、生産終了しました。

ビデオ/RGB 対応の GOT1000 シリーズ	GOT1000 シリーズ用 RGB 出力ユニット
GT1675M-VTBA GT1675M-VTBD GT1675M-STBA GT1675M-STBD	GT16M-ROUT
GT1575V-STBA GT1575V-STBD	GT15V-75ROUT

*2 置き換え時には、RS-422シリアル通信ユニット(GT15-RS4-9S)を接続し、ご使用ください。

*3 置き換え時には、Aバス接続ユニット(GT15-ABUS(2)またはGT15-75ABUS(2)L)を接続し、ご使用ください。

*4 置き換え時には、CC-Link通信ユニット(GT15-J61BT13)を接続し、ご使用ください。

*5 置き換え時には、表示器本体のRS-232ポートで通信いただくか、RS-232シリアル通信ユニット(GT15-RS2-9P)をご使用ください。

*6 GOT1000シリーズはMELSECNET/Bに対応していません。3.4節を参照ください。

*7 GOT1000シリーズは、前面部の色がすべてブラックです。前面部の色がアイボリー-ホワイトの機種はありませんので、ご了承ください。

*8 置き換え機種には、GT11バス接続専用機もあります。詳細は、2.1節を参照してください。

*9 Aバス接続時は、Aバス接続ユニット(GT15-ABUS(2)またはGT15-75ABUS(2)L)を接続し、ご使用ください。また、MELSECNET系通信ユニット接続時は3.1節を参照し、通信ユニットを選定してください。

*10 作画ソフトウェアGT Designer2 Version□は対応していません。GT Works3 Version1(Ver1.15R以降)をご使用ください。

*11 移行を推奨するGOT1000シリーズとして記載しているGT16モデル、GT15モデルは、生産終了しました。

2.1 A851GOTからGOT1000シリーズへの置き換えに関する注意事項

A851GOTからGOT1000シリーズへの置き換えの場合、下記のGOT1000シリーズのバス専用機(GT11バス接続専用機(GT1155-Q□BDA, GT1150-Q□BDA))へ置き換えを推奨します。

表2-2 GT11バス接続専用機(GT1150-QLBDA, GT1155-QSBDA)への置き換え時、推奨置き換え機種一覧表

使用している GOT800 シリーズ	表 2-3 記載の機能制限付で置き換えを推奨する GT11 バス接続専用機 *1	備考
A851GOT-LWD	GT1150-QLBDA	5.7型STNモノクロ Aバス接続
A851GOT-LWD-M3	GT1150-QLBDA	5.7型STNモノクロ Aバス接続
A851GOT-LBD	GT1150-QLBDA	5.7型STNモノクロ Aバス接続
A851GOT-LBD-M3	GT1150-QLBDA	5.7型STNモノクロ Aバス接続
A851GOT-SWD	GT1155-QSBDA	5.7型STNカラー Aバス接続
A851GOT-SWD-M3	GT1155-QSBDA	5.7型STNカラー Aバス接続
A851GOT-SBD	GT1155-QSBDA	5.7型STNカラー Aバス接続
A851GOT-SBD-M3	GT1155-QSBDA	5.7型STNカラー Aバス接続

*1 GT11バス接続専用機は、生産終了しました。

ただし、GT11バス接続専用機では下記の機能に対応していないため、下記の機能を使用する場合はGT155□(+通信ユニット)への置き換えを推奨します。

表2-3 GT11バス接続専用機(GT1150-QLBDA, GT1155-QSBDA)で制限される機能一覧表

項目	機能概略	GT11 バス接続専用機での対応	代替案
局番切換え	オブジェクトのモニタ先のネットワークユニット局番を切り換える機能	対応不可	GT155□採用をご検討ください。 *1
モニタできるアクセス範囲	GOTがモニタできるアクセス範囲	自局(0-FF)のみモニタ可能	GT155□採用をご検討ください。 *1
印字関連機能	レポート機能、コメント印字、ハードコピー等印字に関する機能	対応不可 (プリンタが接続不可)	GT155□採用をご検討ください。 *1

三菱電機グラフィックオペレーションターミナル テクニカルニュース[5/34]

[発行番号] GOT-D-0018-H

項目	機能概略	GT11 バス接続専用機での対応	代替案
外部入出力機能 (操作パネル)	操作パネル, テンキーパネル, 押しボタンスイッチ等外部の入出力機器を接続する機能	対応不可	GT155□採用をご検討ください。 *1
かな漢字変換機能	アスキー入力時ひらがなを漢字に変換する機能	対応不可	GT155□採用をご検討ください。 *1
複数台接続	GOT複数台接続時	対応不可	GT155□採用をご検討ください。 *1

*1 GT155□は、生産終了しました。

三菱電機グラフィックオペレーションターミナル テクニカルニュース[6/34]

[発行番号] GOT-D-0018-H

3. 通信ユニット・オプション

3.1 置き換え機種一覧

各シリーズの通信ユニット、オプションはGOT1000シリーズでは使用することはできません。GOT1000シリーズへの置き換え時はGOT1000シリーズ用のユニットをご使用ください。

表3-1 通信ユニット・オプション置き換え機種一覧

通信方式/オプション	GOT800, A77GOT 用 ユニット形名	GOT1000 用 ユニット形名	ケーブル互換 性 (詳細は 4 章参 照)	備考
Aバス接続	A7GT-BUSS(小型CON) *1	GT15-75ABUSL *6	互換性あり	薄型モデル *3
		GT15-ABUS *6	互換性あり	-
	A7GT-BUS(大型CON) *1	GT15-75ABUSL *6	異なる	薄型モデル *3
		GT15-ABUS *6	異なる	-
	A7GT-BUS2S(小型CON) *1	GT15-75ABUS2L *6	互換性あり	薄型モデル *3
		GT15-ABUS2 *6	互換性あり	-
	A7GT-BUS2(大型CON) *1	GT15-75ABUS2L *6	異なる	薄型モデル *3
		GT15-ABUS2 *6	異なる	-
RS-232接続	A8GT-RS2	GT15-RS2-9P	互換性あり	-
		GOT本体内蔵インタ フェース *4	互換性あり	-
RS-422接続	A8GT-RS4	GT15-RS4-9S	異なる	9ピンコネクタタイプ
		GT15-RS2T4-9P *6	異なる	9ピンコネクタタイプ ※GOT本体内蔵インタフェース に接続して使用可 *4
		GT16-C02R4-9S	異なる	9ピンコネクタタイプ ※GT16のみ使用可
MELSECNET/10	A7GT-J71LP23 *1	GT15-J71LP23-25	互換性あり	MELSECNET/H ユニットの MELSECNET/10モードで使用 ※3.4節を参照
	A7GT-J71BR13 *1	GT15-J71BR13	互換性あり	
MELSECNET(II)	A7GT-J71AP23 *1	GT15-J71LP23-25	互換性あり	ネットワークの変更が必要 ※3.3節, 3.4節を参照
	A7GT-J71AR23 *1	GT15-J71BR13	互換性あり	
MELSECNET/B	A7GT-J71AT23B *1	GT15-J71LP23-25	異なる	
		GT15-J71BR13	異なる	
CC-Link	A8GT-J61BT13 *1	GT15-J61BT13	互換性あり	CC-Link ver.2ユニットに変更が 必要
	A8GT-J61BT15 *1			CC-Link ver.2ユニットに変更が 必要 ※3.3節を参照
外部入出力インタフェ ース	A8GT-70KBF	GT15-DIO *2		-
	A8GT-50KBF			
テンキーパネル	A8GT-TK	該当なし	-	3.3節を参照
	A7GT-TK	該当なし	-	3.3節を参照
プリンタインタフェース	A8GT-70PRF	GT15-PRN	異なる	PictBridge対応プリンタ *5
		GT15-RS2-9P	異なる	シリアルプリンタ *5
		GOT本体内蔵インタ フェース *4	異なる	
	A8GT-50PRF	GT15-PRN	異なる	PictBridge対応プリンタ *5
		GT15-RS2-9P	異なる	シリアルプリンタ *5
		GOT本体内蔵インタ フェース *4	異なる	
メモリカードインタフェ ース	A7GT-MIF	GOT本体内蔵CFカー ドインタフェース	-	GOT本体にCFカードインタフェ ースを標準装備 メモリカード(SRAM)は使用不可

三菱電機グラフィックオペレーションターミナル テクニカルニュース[7/34]

[発行番号] GOT-D-0018-H

通信方式／オプション	GOT800, A77GOT 用 ユニット形名	GOT1000 用 ユニット形名	ケーブル互換 性 (詳細は 4 章参 照)	備考
メモリカード	Q1MEM- 64/128/256/512/1M/2MS	GT05-MEM-□MC GT05-MEM-□GC	-	GOT1000シリーズではSRAMカ ード使用不可 CFカードへ切替要

- *1 GOT800シリーズ, A77GOTシリーズ用通信ユニットにはロータリースイッチ等のハードウェアでの設定スイッチが付いています。GOT1000シリーズ用通信ユニットにはロータリースイッチ等はなくソフトウェアでの設定スイッチのため、作画ソフトウェアまたはユーティリティ画面で設定します。詳細内容は、Aバス接続ユニットは3.2節, MELSECNET/10ユニットは3.4.2項(2), MELSECNET(II)およびMELSECNET/Bの各ユニットは, 3.4.2(1)項を参照ください。
- *2 外部電源電圧／外部接続コネクタ形状等の仕様が変更になります。詳細は, 外部入出力ユニット(GT15-DIO)取扱説明書(IB-0800382)を参照ください。
- *3 外部入出力, 音声, プリンタ, ビデオ／RGB入出力機能などのユニットと併用する場合, 次のユニットをご使用ください。薄型モデルは, 他のユニットとの組み合わせに制限があります。
GT15-ABUS(A/バス接続1ch), GT15-ABUS2(A/バス接続2ch)
- *4 モニタ画面データなどをパソコンから本体内蔵RS-232インタフェースを使用してGOT本体にダウンロードする場合, ケーブルの差し替えが必要になります。
ケーブルを差し替えずに使用したい場合, GT15-RS4-9Sをご使用ください。
但し, 次の1点の検討事項が発生します。
① 通信ユニット取り付け状態でのGOTの厚み(6章のE寸法)が, 13mm増加。
- *5 プリンタインタフェースユニットがセントロニクス準拠(A8GT-70PRF, -50PRF)からUSB インタフェース(GT15-PRN)またはRS-232インタフェース(GT15-RS2-9PまたはGOT本体内蔵インタフェース)へ変更になりますので, プリンタ機種の変更をお願いします。
GOT1000シリーズで対応しているプリンタ機種(動作確認機種)は, 下記のテクニカルニュースを参照してください。
テクニカルニュースは, 三菱電機FAサイトからダウンロードできます。
→ GOT1000シリーズ動作確認機器一覧 (GOT-D-0001)
- *6 生産終了しました。

3.2 設定方法が変更になるユニット

下記一覧に記載したGOT800シリーズ, A77GOTシリーズの通信ユニットは, ロータリースイッチ等ハードウェアでの設定が必要ですが, GOT1000シリーズの通信ユニットにはロータリースイッチ等はなく, 作画ソフトウェアまたはユーティリティ画面での設定となっておりますので, 置き換えの際には, 下記の設定手段にて設定いただきますようお願いいたします。

表3-2 設定方法が変更になるユニット及び変更後の設定手段一覧

GOT800 シリーズ, A77GOT シリーズ通信ユニット			GOT1000 シリーズ通信ユニット	
品名	形名	ハードウェアによる設定項目	形名	設定手段
バス接続ユニット	A7GT-BUS	(1) I/Oスロットスイッチ	GT15-75ABUS(2)L GT15-ABUS(2)	作画ソフト (GT Designer2等) または, GOT本体のユーティリティ画面にて設定をお願いします。
	A7GT-BUS2	(2) 増設段数スイッチ		
	A7GT-BUSS			
	A7GT-BUS2S			
CC-Link接続ユニット	A8GT-J61BT13 A8GT-J61BT15	(1) モードスイッチ： (A8GT-J61BT13のみ) オンライン／オフライン (2) 局番スイッチ：10の位, 1の位 (3) ボーレート設定スイッチ： (4) 条件設定スイッチ： データリンク異常局の入力データ状態, 占有局数	GT15-J61BT13	

三菱電機グラフィックオペレーションターミナル テクニカルニュース[8/34]

[発行番号] GOT-D-0018-H

3.3 後継機種のない通信ユニット, オプション

下記一覧に記載したGOT800シリーズ, A77GOTシリーズの通信ユニット, オプションは, GOT1000シリーズに対応した代替機種はありません。GOT1000シリーズへの置き換えが困難な場合は十分な数量の予備品を確保いただくようお願いいたします。

表3-3 後継機種のない通信ユニット・オプション一覧とその代案

分類	品名	形名	代案
通信ユニット	バス接続ユニット	A7GT-BUS	他の通信形態への変更をご検討ください。(3.4節)
		A7GT-BUS2	
		A7GT-BUSS	
		A7GT-BUS2S	
MELSECNET(II)通信ユニット	MELSECNET(II)通信ユニット	A7GT-J71AP23	MELSECNET/H ネットワークシステム (GOT1000 シリーズ通信ユニット GT15-J71BR13 / GT15-J71LP23-25) への変更をご検討ください。(3.5節)
		A7GT-J71AR23	
MELSECNET/B通信ユニット	MELSECNET/B通信ユニット	A7GT-J71AT23B	
CC-Link(リモートデバイス局)通信ユニット	CC-Link(リモートデバイス局)通信ユニット	A8GT-J61BT15	CC-Link(インテリジェントデバイス局)通信ユニット(GOT1000シリーズ通信ユニットGT15-J61BT13)への置き換えをご検討ください。 *1
オプション	テンキーパネル	A8GT-TK A7GT-TK	代替機種はありません。 *2

*1 ・使用局数に差があります。(リモートデバイス局：2/4局占有, インテリジェントデバイス局：1/4局占有), シーケンサ側のCC-Link局設定(リモートデバイス局→インテリジェントデバイス局)などのパラメータ変更が必要です。

・最大接続台数が, 32台から26台と減少します。26台を超える台数を接続されている場合, マスタ局を増やし対応いただきますようご検討をお願いします。

・リモート専用コマンド9種類(イニシャル設定コマンド, 連続リードコマンド, ランダムリードコマンド, 連続ライトコマンド, ランダムライトコマンド, モニタ登録コマンド, モニタ要求コマンド, 常時書込み登録コマンド, 常時書込み要求コマンド)には, 対応していません。リモート専用コマンドをご使用の方で, ご不明点のある方は支社までご相談ください。

*2 手持ちのA8GT-TKをGOT1000でご使用するためのケーブル(GT15-C03HTB)がありますので, 三菱電機システムサービス(株)(URL <http://www.melsco.jp/>)にお問い合わせください。

3.4 Aシーケンサとバス接続されたGOT800, A77GOT, A64GOTシリーズをGOT1000シリーズへ置き換え

GOT1000シリーズ用のAバス接続ユニットは, 全機種2014年12月末日に受注を締め切り, 2015年1月末日に生産を終了しました。GOT800, A77GOTシリーズで, Aバス接続を使用している場合, 通信形態を変更する必要があります。下記を参照してください。

- 3.4.1 シーケンサ, GOTの設定
- 3.4.2 通信形態

対象のシーケンサCPU

シーケンサのシリーズ	形名
MELSEC-Aシリーズ	A0J2HCPU, A0J2HCPUP21, A0J2HCPUR21, A0J2HCPU-DC24, A2CCPU, A2CCPUP21, A2CCPUR21, A2CCPUC24, A2CCPUC24-PRF, A2CJCPU-S3, A1FXCPU
	A2UCPU, A2UCPU-S1, A3UCPU, A4UCPU, A2A, A2ACPUP21, A2ACPUR21, A2ACPU-S1, A2ACPUP21-S1, A2ACPUR21-S1, A3ACPU, A3ACPUP21, A3ACPUR21, A1NCPUR21, A1NCPUP21, A1NCPUR21, A2NCPUR21, A2NCPUP21, A2NCPUR21, A2NCPUR21, A2NCPUR21, A2NCPUR21-S1, A2NCPUP21-S1, A2NCPUR21-S1, A3NCPUR21, A3NCPUP21, A3NCPUR21
	A2USCPU, A2USCPU-S1, A2USHCPU-S1, A1SCPU, A1SCPUC24-R2, A1SHCPU, A2SCPU, A2SHCPU, A1SJCPU, A1SJCPU-S3, A1SJHCPU
MELSEC-QnAシリーズ	Q2ACPU, Q2ACPU-S1, Q3ACPU, Q4ACPU, Q4ARCPU
	Q2ASCPU, Q2ASCPU-S1, Q2ASHCPU, Q2ASHCPU-S1

3.4.1 シーケンサ, GOTの設定

通信形態を変更する場合、シーケンサ側、GOT側の設定の見直しをしてください。

(1) シーケンサ側

バス接続したGOTを取り外した場合や、シーケンサ側に各種通信ユニットを追加した場合、シーケンサ側の設定変更が必要になる場合があります。シーケンサ側の構成に合わせて、パラメータ設定(I/O割付など)、シーケンスプログラム内のI/O番号などを見直してください。

(2) GOT側

接続機器の設定を変更してください。 *1

ネットワーク接続(Ethernet接続以外)に変更する場合は、各オブジェクトのデバイス番号に、ネットワークNo., 局番を設定してください。 *2

*1 接続機器の設定例

MELSEC-AシリーズにCPU直接接続(RS-422接続)する場合



*2 ネットワークNo., 局番の設定

ネットワークNo.1, 局番2のCPUのD0をモニタする場合

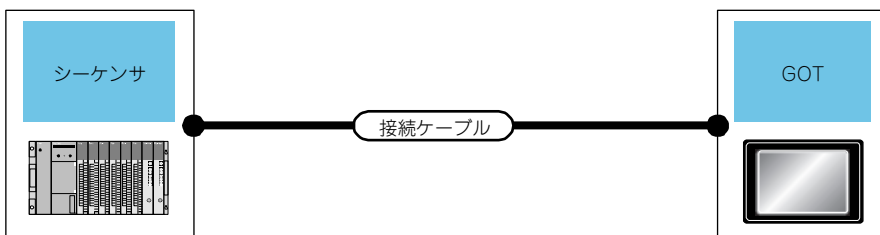


3.4.2 通信形態

(1) シリアル接続へ置き換え

(a) CPU直接接続

下記の構成で接続してください。



三菱電機グラフィックオペレーションターミナル テクニカルニュース[10/34]

[発行番号] GOT-D-0018-H

1) MELSEC-A, MELSEC-QnAと接続時

シーケンサ		接続ケーブル *1	GOT	
CPU ユニット	通信形態		オプション機器	本体
MELSEC-A *2	RS-422	GT01-C30R4-25P(3m)	GT16-C02R4-9S	GT16
MELSEC-QnA		GT01-C100R4-25P(10m)	GT15-RS2T4-9P *3*4	GT16, GT15
		GT01-C200R4-25P(20m)	GT15-RS4-9S	
		GT01-C300R4-25P(30m)	(本体内蔵)	GT14

*1 接続距離が30mを超える場合は、ネットワーク接続への置き換えをご検討ください。

*2 AnNCPU, A0J2HCPU, A2CCPUをモニタする場合は、下記ソフトウェアバージョン以降のCPUのみ書き込みできます。

- ・ AnNCPU(S1): リンク付きはバージョンL以降、リンクなしはバージョンH以降
- ・ A0J2HCPU(リンク付き/なし): バージョンE以降
- ・ A2CCPU: バージョンH以降

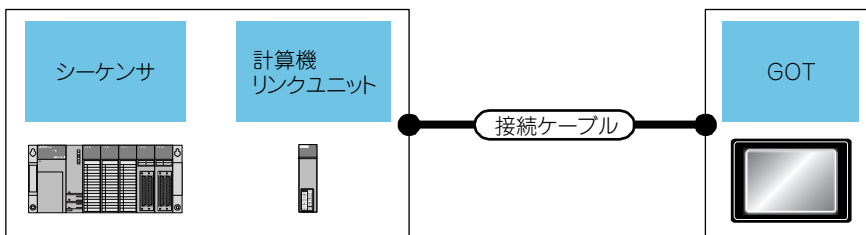
*3 RS-232インタフェース(本体内蔵)に装着します。GT1655, GT155□は、使用できません。

*4 生産終了しました。

(b) 計算機リンク接続

下記の構成で接続してください。

計算機リンク接続に置き換える場合、シーケンサ側に計算機リンクユニットが必要となります。



1) MELSEC-A, MELSEC-QnAと接続時

シーケンサ		接続ケーブル *2*3	GOT	
計算機リンクユニット	通信形態		オプション機器	本体
AJ71UC24 *5*6	RS-232	GT09-C30R2-25P (3m) ユーザ作成ケーブル(最大15m)	(本体内蔵)	GT16, GT15, GT14
A1S71UC24-R2 *5			GT15-RS2-9P	GT16, GT15
A1S71C24-R2 *5				
AJ71QC24-R2 *5				
A1S71QC24 *5				
A1S71QC24-R2 *5				
A1S71UC24-R2 *5*6				
A1S71C24-R2 *5*6				
AJ71UC24 *5*6	RS-422	ユーザ作成ケーブル(最大500m) *7*8*9	(本体内蔵)	GT16
A1S71UC24-R4 *5		GT09-C30R4-6C (3m)	GT16-C02R4-9S	GT16
AJ71QC24-R4 *5		GT09-C100R4-6C (10m)	GT15-RS2T4-9P *4*5	GT16, GT15
A1S71QC24 *5		GT09-C200R4-6C (20m)	GT15-RS4-9S	
A1S71UC24-R4 *5*6		GT09-C300R4-6C (30m)	(本体内蔵)	GT14
		ユーザ作成ケーブル(最大500m) *7*9		
AJ71QC24-R4 *5	RS-422	GT01-C30R4-25P (3m)	GT16-C02R4-9S	GT16
		GT01-C100R4-25P (1m)	GT15-RS2T4-9P *4*5	GT16, GT15
		GT01-C200R4-25P (20m)	GT15-RS4-9S	
		GT01-C300R4-25P (30m)	(本体内蔵)	GT14

*1 A2SCPU-S1, A2SHCPU-S1, A1SHCPU, A1SJHCPU, A0J2HCPUの計算機リンク接続は、計算機リンクユニットのソフトウェアバージョンU版以降を使用してください。

またA0J2-C214-S1(A0J2HCPU専用計算機リンクユニット)は使用できません。

*2 ユーザ作成ケーブルについては、下記を参照してください。

→ GOT1000シリーズ 接続マニュアル(三菱電機機器接続編) GT Works3対応

*3 接続距離が30mを超える場合は、ユーザ作成ケーブルによる接続または、ネットワーク接続への置き換えをご検討ください。

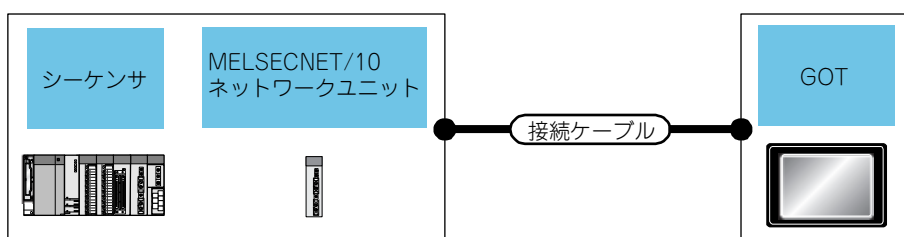
- *4 RS-232インターフェース(本体内蔵)に装着します。GT1655, GT155□は、使用できません。
- *5 生産終了しました。
- *6 使用できるデバイス番号範囲が、AnACPUのデバイス範囲となります。
- *7 AJ71QC24-R4をご使用時は、最大1200mです。
- *8 AJ71UC24をご使用時は、最大1200mです。
- *9 A1SJ71QC24をご使用時は、最大1200mです。

(2) ネットワーク接続へ置き換え

(a) MELSECNET/10接続

下記の構成で接続してください。

MELSECNET/10接続に置き換える場合、シーケンサ側にMELSECNET/10ユニットが必要となります。GOT側には、MELSECNET/H通信ユニット(MNET/10モードで使用)が必要となります。



1) MELSEC-A, MELSEC-QnAと接続時(光ループシステム)

シーケンサ		接続ケーブル	GOT	
MELSECNET/10 ユニット	通信形態		オプション機器	本体
AJ71LP21 *4 A1SJ71LP21 *4 AJ71QLP21 *4 AJ71QLP21S *4 A1SJ71QLP21 *4 A1SJ71QLP21S *4	MELSECNET/10	光ファイバーケーブル	GT15-J71LP23-25 *2 GT15-75J71LP23-Z *3*4	GT16, GT15 GT15

- *1 A2UCPU, A2UCPU-S1, A3UCPU, A4UCPU, A2USCPU, A2USCPU-S1, A2USHCPU-S1が接続できます。
- *2 接続機器設定でMNET/10モードに設定してください。
- *3 GT155□では、使用できません。
- *4 生産終了しました。

2) MELSEC-A, MELSEC-QnAと接続時(同軸バスシステム)

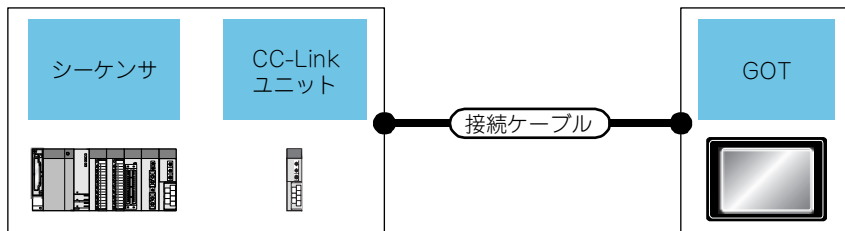
シーケンサ		接続ケーブル	GOT	
MELSECNET/10 ユニット	通信形態		オプション機器	本体
AJ71BR11 *4 A1SJ71BR11 *4 AJ71QBR11 *4 A1SJ71QBR11 *4	MELSECNET/10	同軸ケーブル	GT15-J71BR13 *2 GT15-75J71BR13-Z *3*4	GT16, GT15 GT15

- *1 A2UCPU, A2UCPU-S1, A3UCPU, A4UCPU, A2USCPU, A2USCPU-S1, A2USHCPU-S1が接続できます。
- *2 接続機器設定でMNET/10モードに設定してください。
- *3 GT155□では、使用できません。
- *4 生産終了しました。

(b) CC-Link接続(インテリジェントデバイス局)

下記の構成で接続してください。

CC-Link(インテリジェントデバイス局)接続に置き換える場合、シーケンサ側にCC-Linkユニットが必要となります。



1) MELSEC-A, MELSEC-QnAと接続時

シーケンサ		接続ケーブル	GOT	
CC-Link ユニット	通信形態		オプション機器	本体
AJ61BT11 *4	CC-Link(Ver.1)	CC-Link専用ケーブル	GT15-J61BT13 *2	GT16, GT15
A1SJ61BT11			GT15-75J61BT13-Z *3*4	GT15
AJ61QBT11 *4				
A1SJ61QBT11				

*1 A0J2HCPU, A0J2HCPUP21, A0J2HCPUR21, A0J2HCPU-DC24のみ接続できます。

*2 接続機器設定で、モード設定を Ver.1に設定してください。

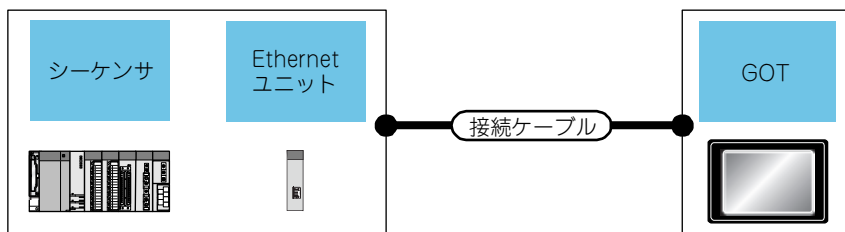
*3 GT15□では、使用できません。

*4 生産終了しました。

(c) Ethernet接続

下記の構成で接続してください。

Ethernet接続に置き換える場合、シーケンサ側にEthernetユニットが必要となります。



三菱電機グラフィックオペレーションターミナル テクニカルニュース[13/34]

[発行番号] GOT-D-0018-H

1) MELSEC-A, MELSEC-QnAと接続時

シーケンサ		接続ケーブル	GOT	
Ethernet ユニット	通信形態		オプション機器	本体
AJ71E71N3-T *3 AJ71E71N-B5 *3 AJ71E71N-B2 *3 AJ71E71N-T *3 AJ71E71N-B5T *3 AJ71E71-S3 *3 A1SJ71E71N3-T *3 A1SJ71E71N-B5 *3 A1SJ71E71N-B2 *3 A1SJ71E71N-T *3 A1SJ71E71N-B5T *3 A1SJ71E71-B5-S3 *3 A1SJ71E71-B2-S3 *3 AJ71QE71N3-T *3 AJ71QE71N-B5 *3 AJ71QE71N-B2 *3 AJ71QE71N-T *3 AJ71QE71N-B5T *3 AJ71QE71 *3 AJ71QE71-B5 *3 A1SJ71QE71N3-T *3 A1SJ71QE71N-B5 *3 A1SJ71QE71N-B2 *3 A1SJ71QE71N-T *3 A1SJ71QE71N-B5T *3 A1SJ71QE71-B5 *3 A1SJ71QE71-B2 *3	Ethernet	ツイストケーブル ・ 10BASE-T ・ 100BASE-TX	(本体内蔵)	GT16 *1 GT14 *2
			GT15-J71E71-100 *3	GT15

*1 機能バージョンAのGT16を、10BASE(-T/2/5)対応の機器に接続する場合、スイッチングハブを使用して10Mbps/100Mbpsが混在可能なネットワーク環境で使用してください。

機能バージョンの確認方法については、下記を参照してください。

→ GT16本体取扱説明書(ハードウェア詳細編)

*2 Ethernet接続に対応しているGT14は、GT1455-QTBDE, GT1450-QMBDEのみです。

*3 生産終了しました。

(3) 複数台接続している時の置き換え

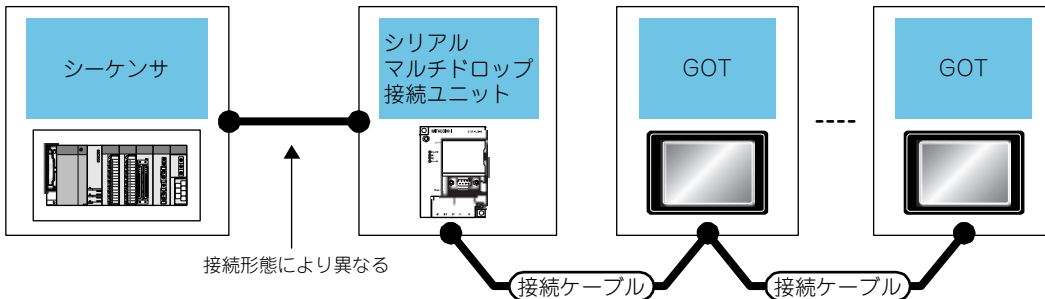
複数台接続している構成からの置き換えは、以下の接続形態をご検討ください。

- ・ ネットワーク接続
 - 3.4.2 (2) ネットワーク接続への置き換え
- ・ マルチドロップ接続
 - (a) マルチドロップ接続

(a) マルチドロップ接続 *1

下記の構成で接続してください。

マルチドロップ接続に置き換える場合、以下のオプション機器、ケーブルが必要となります。



*1 スレーブGOTの接続台数及び、各GOTのデバイス点数が大きくなると、画面上のデバイス更新周期が遅くなる場合があります。このような場合には、各GOTのデバイス点数を削減することをお勧めします。(GOT1台あたり250点、合計点数750点を目安としてください。)また、タイムアウトエラーが発生する場合には、スレーブGOTの接続機器設定よりタイムアウト時間を延長してください。

1) MELSEC-A *1, MELSEC-QnA *2と接続時

シリアルマルチドロップ接続ユニットとシーケンサ間のシステム構成は、各接続形態の項目を参照してください。

マルチドロップ接続ユニット		ケーブル *3	GOT	
シリアルマルチドロップ接続ユニット	通信形態		オプション機器	本体
GT01-RS4-M	RS-485	ユーザ作成ケーブル(最大500m *6)	FA-LTBGTR4CBL05(0.5m)	GT16
			FA-LTBGTR4CBL10(1m)	
			FA-LTBGTR4CBL20(2m)	
			GT15-RS4-9S	GT16, GT15
			GT15-RS4-TE	GT16, GT15
			GT10-9PT5S *4 (本体内蔵)	GT14
GT14-RS2T4-9P *5				

*1 シーケンサとシリアルマルチドロップ接続ユニットを計算機リンク接続する場合、接続できません。

*2 Q4ARCPUは接続できません。

*3 ユーザ作成ケーブルについては、下記を参照してください。

→ GOT1000シリーズ 接続マニュアル(三菱電機機器接続編) GT Works3対応

*4 RS-422/485インターフェース(本体内蔵)に装着します。

*5 RS-232インターフェース(本体内蔵)に装着します。

*6 シーケンサとGOT(終端)までの最長設置距離です。

3.5 MELSECNET(II), MELSECNET/Bネットワークに接続されたGOT800, A77GOT, A64GOTシリーズをGOT1000シリーズへ置き換え

GOT800シリーズ, A77GOTシリーズ, A64GOTシリーズを含むネットワークにMELSECNET(II), MELSECNET/Bをご採用いただいている場合、下記のいずれかの方法で、置き換えをご検討ください。

- ・システム全体のネットワークをMELSECNET/Hへ変更しGOT1000シリーズへの置き換え
- ・システム全体のネットワークを変更せず、シーケンサ-GOT間の接続形態を変更し、GOT1000シリーズへの置き換え

3.5.1 システム全体のネットワークをMELSECNET/Hへ変更しGOT1000シリーズへの置き換え

GOT1000シリーズには、以下のMELSECNET/H通信ユニットをご使用ください。

形名	仕様
GT15-J71LP23-25	光ループユニット
GT15-J71BR13	同軸バスユニット

システム全体をMELSECNET/Hへの置き換える場合の詳細は、MELSEC-A/QnA(大型)シリーズからQシリーズへの置き換えの手引き(ネットワークユニット編)(L-08047)を参照ください。

3.5.2 システム全体のネットワークを変更せず、シーケンサ-GOT間の接続形態を変更し、GOT1000シリーズへの置き換え

(1) 既存のシーケンサに空きスロットがある場合

シーケンサにMELSECNET(II), MELSECNET/B, MELSECNET/10以外の通信ユニットを追加し、シーケンサ-GOT間の接続形態を変更してください。

GOTの接続形態を変更し、シーケンサを経由してネットワークにアクセスする例

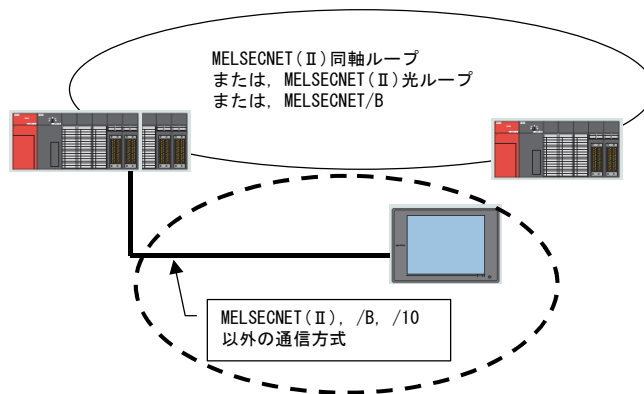


図3-1 空きスロットのあるシーケンサに通信ユニット増設しGOTとシーケンサを接続する置き換え構成例

以下の2点の制約事項があります。

(a) GOTの接続する局により、局番設定の変更が発生します。

- ・ マスタ局へ接続の場合、局番をすべて「自局」(0-FF)に変更してください。
- ・ ローカル局へ接続の場合：局番変更は必要ありません。

(b) サイクリックデバイスを「自局書込み」で使用している場合、GOTの書込みエリアが使用不可となるため、書き込みデバイスの変更と書き込みデバイス変更に伴うラダー等の変更が必要となります。

表3-4 置き換えるGOTとシーケンサ間の通信方式、通信ユニット形名一例と接続するシーケンサー一覧表

置き換え通信方式	GOTの代表通信ユニット形名	接続するシーケンサ
Aバス接続	GT15-ABUS *1, GT15-75ABUSL *1	A小型シリーズ MELSEC-QnAシリーズ
RS-232接続	本体のRS-232ポート, GT15-RS2-9P	Qシリーズ A小型シリーズ MELSEC-QnAシリーズ
RS-422接続	GT15-RS4-9S, GT15-RS2T4-9P *1	Qシリーズ A小型シリーズ MELSEC-QnAシリーズ

*1 生産終了しました。

(2) 既存シーケンサに空きスロットがない場合

ネットワークにシーケンサを追加してください。追加したシーケンサにMELSECNET(II), MELSECNET/B, MELSECNET/10以外の通信ユニットを追加して、シーケンサ-GOT間の接続形態を変更してください。
ネットワークにシーケンサを追加して、ネットワークにアクセスする例

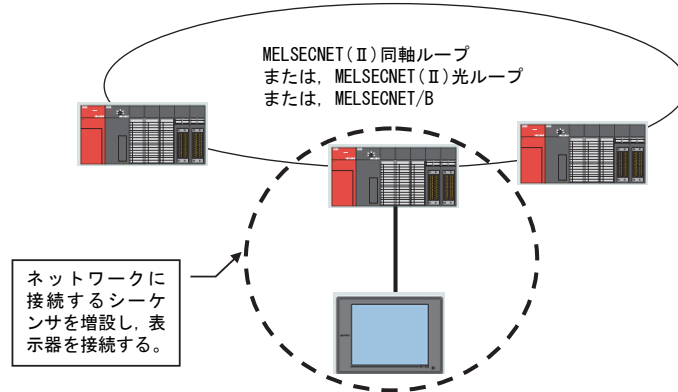


図3-2 ネットワークに接続するシーケンサを追加しGOTとシーケンサを接続する置き換え構成例参照

3.6 MELSECNET/10(PC間光ループ/PC間同軸バス)ネットワークに接続されたGOT800, A77GOTシリーズをGOT1000シリーズへの置き換え

3.5.1項記載のMELSECNET/H通信ユニットを使用し、MELSECNET通信ユニットをMELSECNET/10モードに設定のうえ、MELSECNET/10ネットワークに接続してご使用ください。

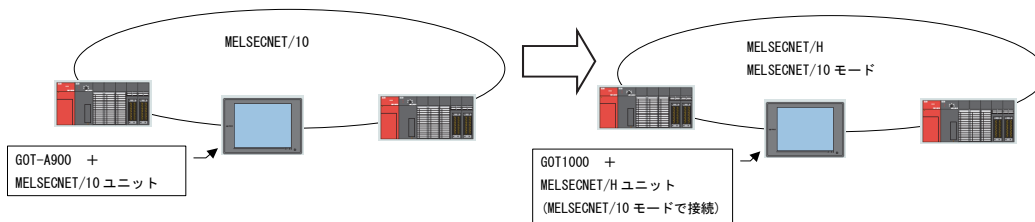


図3-3 接続するネットワークを変更する置き換え構成例参照

三菱電機グラフィックオペレーションターミナル テクニカルニュース[17/34]

[発行番号] GOT-D-0018-H

4. ケーブル

4.1 バス接続ケーブル

4.1.1 現在ご使用中のケーブルの活用

下記GOT800シリーズ, A77GOTシリーズ用バス接続ケーブルは, ケーブルの両端に専用フェライトコア(※)を取り付けることにより, GOT1000シリーズでもそのままご使用いただくことができます。

表4-1 既設GOT800シリーズ, A77GOTシリーズケーブルで活用可能なケーブル一覧

A バス接続ケーブル品名	ケーブル形名	ケーブル長	フェライトコア形名(※)	発売時期
大型CPU増設ケーブル	A8GT-C□NB	1.2~5m	GT15-AFC	発売中
	A370C□B-S1	1.2, 2.5m		
小型CPU増設ケーブル	A1SC□(N)B	0.5~5m		
GOT間接続ケーブル				
小型CPU長距離接続ケーブル	A8GT-C□EXSS(-1)	10.6~30.6m		
GOT間長距離接続ケーブル	A8GT-C□BS	10~30m		
A0J2HCPU接続ケーブル	A9GT-J2C□B	1m		

※フェライトコアは, 三菱電機システムサービス(株)(URL <http://www.melco.co.jp/>)より, ご購入ください。(GT15-AFCは, フェライトコア2個入りで, ケーブル1本分になります。)

下記, GOT800シリーズ, A77GOTシリーズケーブルは, 使用できません。表の代替ケーブルにあるGOT1000シリーズ用バス接続ケーブルに置き換えてご使用ください。

表4-2 既設GOT800シリーズ, A77GOTシリーズケーブルで活用不可のケーブル一覧

A バス接続ケーブル品名	ケーブル形名(組合せ)	ケーブル長	代替ケーブル形名 *1	備考	
Aバス接続ケーブル	大型CPU増設ケーブル	AC□B	0.6~5m	GT15-C□NB	-
		AC□B+A7GT-CNB-BUS-1	0.6~5m+0.3m	GT15-C□NB	-
		AC□B+A7GT-CNB+A8GT-C□EXSS-1/-C□EXSS	0.6~5m+10~30.6m	GT15-AC □ B+A7GT-CNB+GT15-C□EXSS-1	-
		AC□B-R	1.2~5m	GT15-C□NB	元のケーブルは, ライトアングルケーブルですが, 相当品がありませんので, 通常のケーブルへの置き換えになります。
		AC□B-R+A7GT-CNB-BUS-1	1.2~5m+0.3m	GT15-C□NB	同上
		AC □ B-R+A7GT-CNB+A8GT-C□EXSS-1/-C□EXSS	1.2~5m+10~30.6m	GT15-AC □ B+A7GT-CNB+GT15-C□EXSS-1	-
		A7GT-C□EXS(-1)	10~30m	GT15-C□EXSS-1	-
		A7GT-C□B	10~30m	GT15-C□BS	-
		A370C□B	1.2~2.5m	GT15-A370C□B	-
		A370C□B+A7GT-CNB-BUS-1	1.2~2.5m+0.3m	GT15-A370C□B-S1	-
小型CPU増設ケーブル	A1SC□NB+A7GT-CNB-BUS-1	0.5~5m+0.3m	GT15-A1SC□B	-	
A0J2HCPU接続ケーブル	A0J2C04B	0.4m	GT15-J2C10B	0.4mの相当品がありませんので, 1m品への置き換えになります。	

*1 生産終了しました。

4.1.2 複数台バス接続時のGOTの置き換え

GOT800シリーズをバス接続にて複数台接続している場合, 1台のみをGOT1000シリーズに置き換えることは出来ません。全てをGOT1000シリーズに置き換え必要があります。

4.2 RS-232ケーブル

GOT800シリーズ用シリアル通信ユニット(RS-232)とGOT1000シリーズのシリアル通信ポート(RS-232)のコネクタは、同じタイプ(9ピンDサブ(オス)インチネジ止めタイプ)でピンアサインも同じです。

RS-232ケーブルは、そのまま流用できます。

また、GOT1000シリーズは、当社製GOT1000シリーズ用ケーブル(一部、GOT1000シリーズ接続マニュアル記載のお客様作成ケーブル)で接続できます。

4.3 RS-422ケーブル

GOT800シリーズでご使用中の当社製ケーブル(AC□R4, A7GT-AC□R4)は、表示器側のコネクタがGOT1000シリーズとは異なりますので、GOT1000用ケーブルに置き換えてご使用をお願いいたします。

GOT1000シリーズには、当社製GOT1000用ケーブル(一部、GOT1000シリーズ接続マニュアル記載のお客様作成ケーブル)にて接続できます。

4.4 ネットワークケーブル(MELSECNET/10, CC-Link)

各シリーズのネットワークケーブルはGOT1000シリーズでも使用することができます。

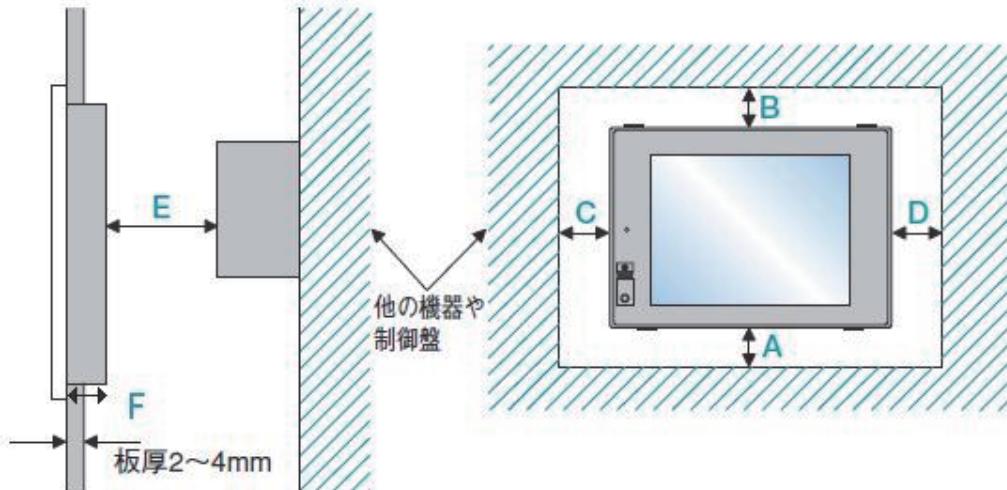
4.5 その他のケーブル

表4-3 その他の既設ケーブルの対応一覧

ケーブルの種類	対応
プリンタケーブル	インタフェースが異なるため(GOT1000はUSBまたはRS-232, GOT800シリーズは、セントロニクス準拠)であり、GOT800シリーズ用のケーブルをGOT1000シリーズで使用することは出来ません。
CRT接続ケーブル	GOT800シリーズのケーブル(形名: AC□VG)は、GOT1000でも使用可能です。

5. 製品取付け間隔

GOT800, A77GOT, A64GOTシリーズからGOT1000シリーズに置き換えた場合、製品取付け間隔がGOT800, A77GOT, A64GOTシリーズより大きくなる機種、接続形態があります。以下にその注意点について記載します。なお、製品取付け間隔の必要寸法についてはカタログの外形寸法の製品取付け間隔を参照してください。また、GOT1000シリーズに置き換え時、マルチチャンネル機能をご使用される場合、E寸法はGT15本体取扱説明書をご参照の上、ご確認ください。



5.1 GOT800, A77GOTシリーズ

製品取付け間隔(図中A～F寸法)のうちGOT800, A77GOTシリーズより大きくなるのは、A851GOTバス接続, A852GOT CC-Link接続時のF寸法のみです。下記に一覧を示します。

なお、マルチチャンネル機能使用時は装着する通信ユニットの厚みを考慮して頂く必要があります。詳細は、GOT1000シリーズ接続マニュアル記載のマルチチャンネルの章をご参照ください。

表5-1 バス接続, CC-Link接続時の奥行き寸法(F寸法)一覧

(単位: mm)

使用している GOT800 シリーズ			代替機種		
GOT 形名	接続形態	F 寸法	GOT 形名	通信インタフェースユニット形名	F 寸法
A851GOT	Aバス接続	62	GT1550-QLBD	GT15-ABUS(2)	77
			GT1555-QSBD	GT15-75ABUS(2)L	
A852GOT	CC-Link接続	69	GT1550-QLBD	GT15-J61BT13	77
			GT1555-QSBD		

5.2 A64GOTシリーズ

製品取付け間隔の比較表を表5-2に示します。

A64GOTでは、一部の定義がない寸法があり、またE寸法, F寸法は、置き換え機種のほうが大きいため、置き換え時ご確認ください。

表5-2 A64GOTとGT1550-QLBDの取り付け寸法比較表

(単位: mm)

形名	A 寸法	B 寸法	C 寸法	D 寸法	E 寸法	F 寸法
A64GOT-L/-LT21B	定義なし	定義なし	定義なし	定義なし	51.5	73.5
GT1550-QLBD (MELSECNET/Hユニット装着時)	65	80	50	50	100	77

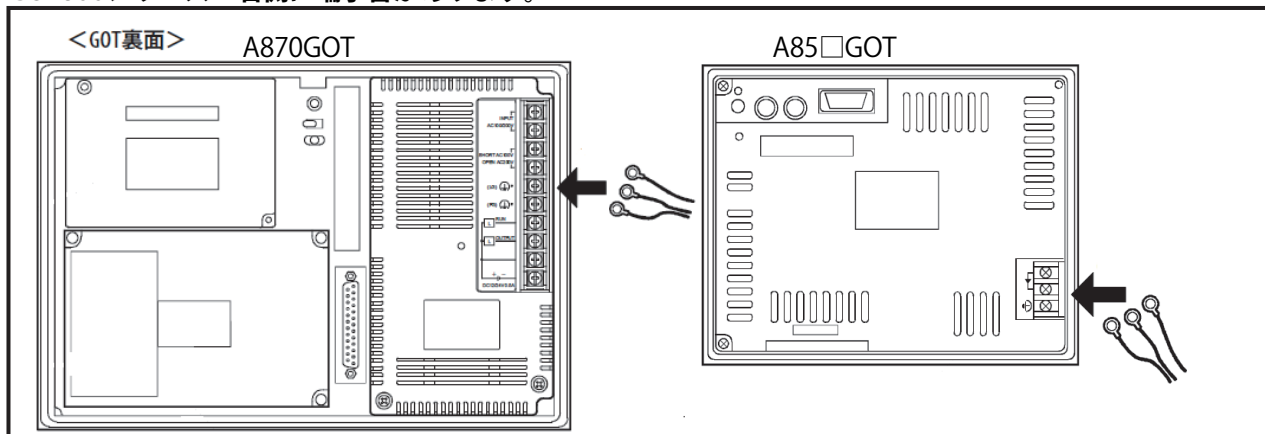
6. ケーブルの引き出し方向, PC(CF)カード装着方向

GOT800, A77GOT, A64GOTシリーズとGOT1000ではケーブルの引き出し方向や位置, PC(CF)カード装着方向に違いがあります。

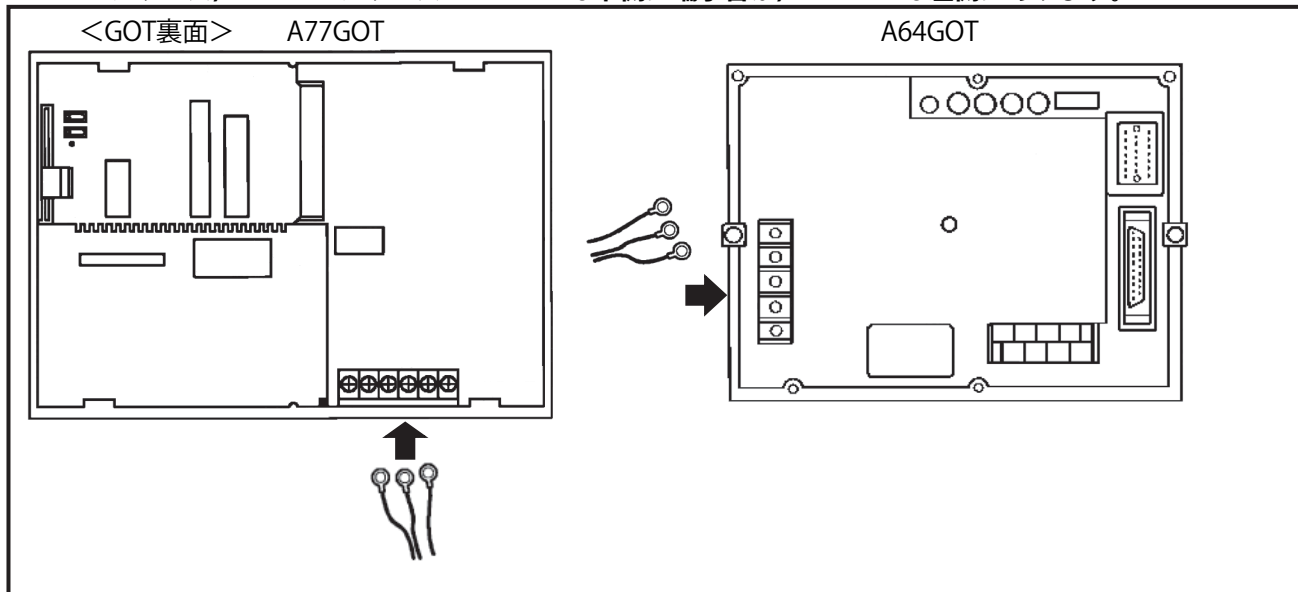
下記にGOT800, A77GOT, A64GOTシリーズとGOT1000シリーズの違いを示しますので, 制御盤に取り付ける場合は, 下記を参考に配線などを行ってください。

6.1 ケーブルの引き出し方向および位置

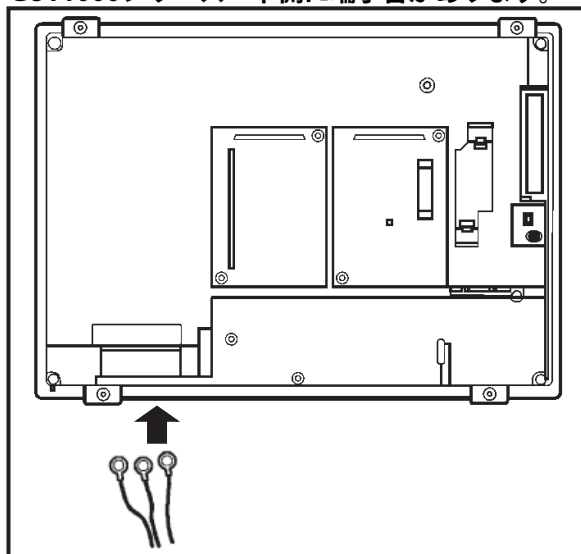
(1) GOT800シリーズ：右側に端子台があります。



(2) A77GOTシリーズ, A64GOTシリーズ：A77GOTは下側に端子台が, A64GOTは左側にあります。

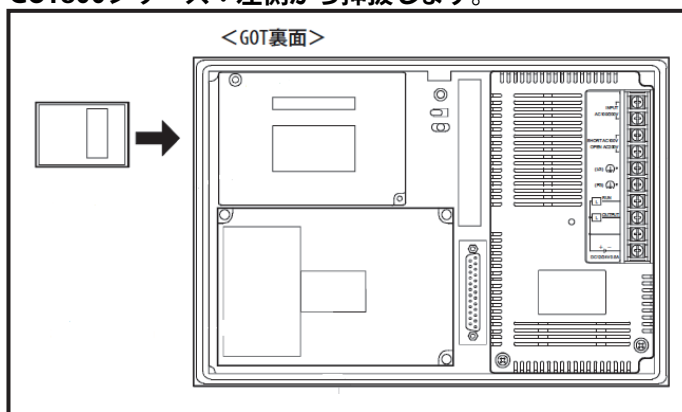


(3) GOT1000シリーズ：下側に端子台があります。

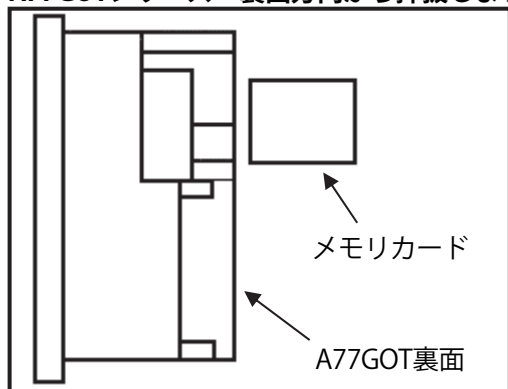


6.2 CFカード装着方向

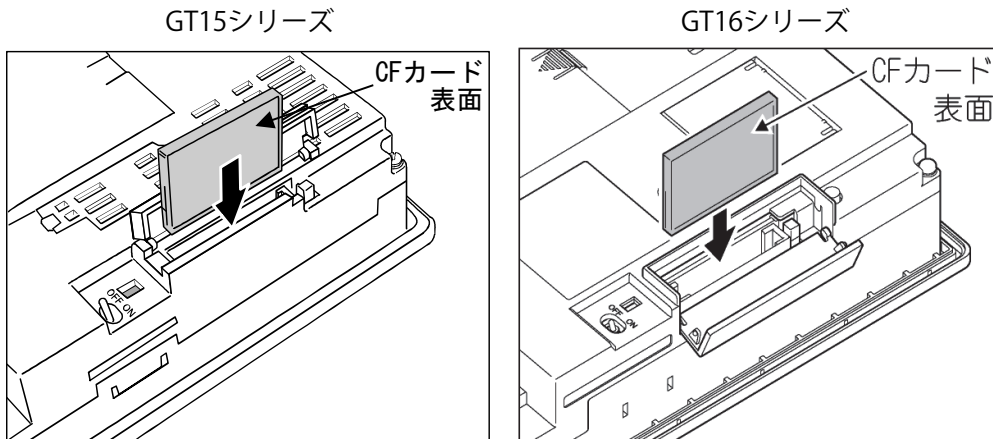
(1) GOT800シリーズ：左側から挿抜します。



(2) A77GOTシリーズ：裏面方向から挿抜します。

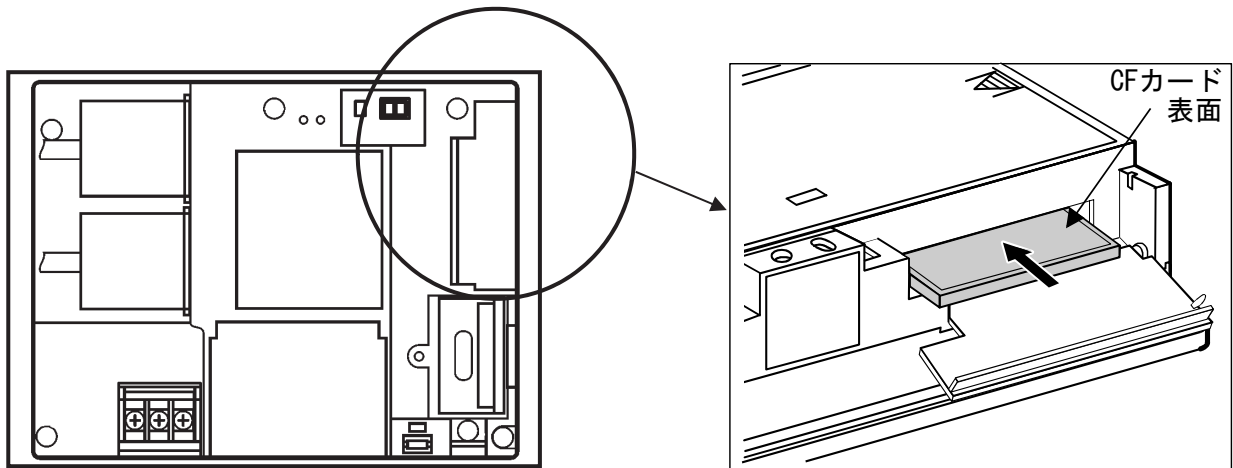


(3) GOT1000シリーズ本体(GT155□, GT115□以外)：裏面方向から挿抜します。



製品取付け時は、CFカードの着脱を考慮し、奥行きは100mm以上確保してください。

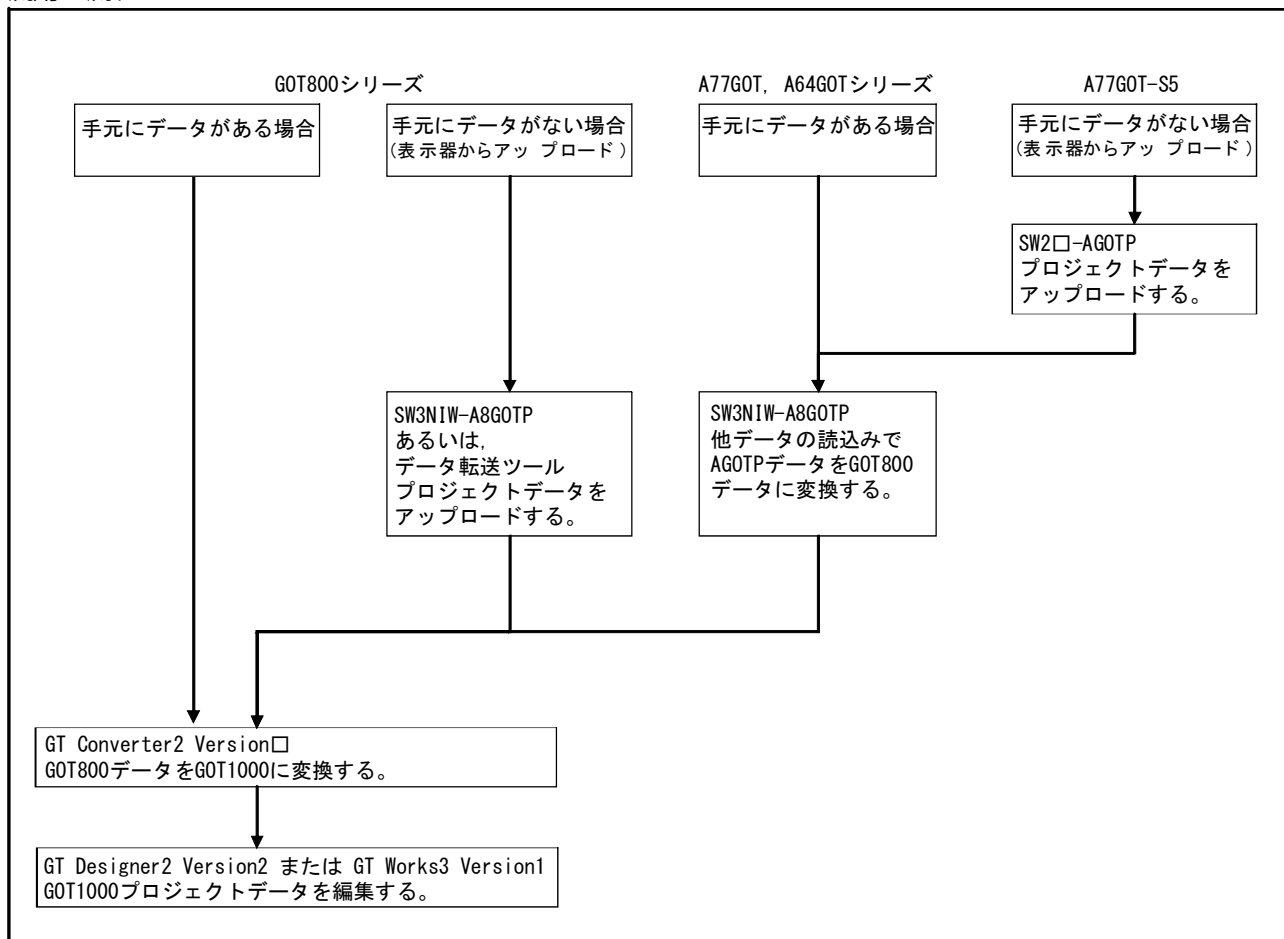
(4) GT155□, GT115□の場合：側面方向から挿抜します。



7. モニタ画面データ

7.1 モニタ画面データの流用

GOT800シリーズ用データ, A77GOT, A64GOTシリーズ用データ, A77GOT-S5用データからのモニタ画面データ流用の流れ



7.1.1 GOT800シリーズからGOT1000シリーズへのモニタ画面データの変換方法

GOT800シリーズで使用していたモニタ画面データは、データ変換ソフトウェア(GT Converter2 Version2またはGT Converter2 Version3)を使ってGOT1000シリーズのデータに変更することで、GOT1000シリーズでもプロジェクトデータなどを流用することが可能です。

データ変換ソフトウェアは、下記のGOT1000シリーズ用作画ソフトウェアに同梱されています。

- ① GT Converter2 Version2
 - ・ GT Works2 Version2(SW2D5C-GTWK2)
 - ・ GT Designer2 Version2(SW2D5C-GTD2)
- ② GT Converter2 Version3
 - ・ GT Works3 (SW1DNC-GTWK3, SW1DND-GTWK3)

(1) GOT800シリーズのモニタ画面データが手元にあるとき

GT Converter2 Version□にてGOT800用データをGOT1000用データに直接変換します。

変換後のファイルを編集したいときには、GT Designer2 Version□またはGT Works3で変換後のデータを開いて修正します。

【GT Converter2 Version□の操作】

- ① GT Converter2 Version□を起動します。
- ② 変換したいモニタ画面データのプロジェクトファイルを選択して、変換を開始します。
- ③ 変換が完了したら、ファイル名をつけて保存します。

※変換後のファイル形式は、“*.GTE”ファイルではなく、“*.G1”ファイルで保存されます。

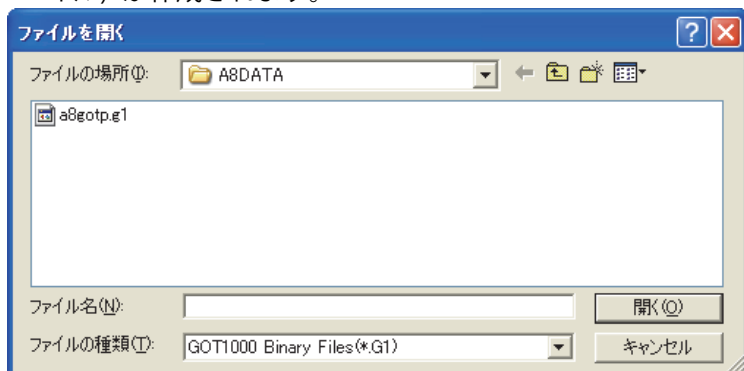
※GT Converter2 Version□の操作は、下記のマニュアルを参照してください。

- ① GT Converter2 Version2
 - ・ GT Converter2 Version2 操作マニュアル(SH-080512)
- ② GT Converter2 Version3
 - ・ GT Converter2 Version3 操作マニュアル(SH-080848)

【GOT1000シリーズ用作画ソフトウェアでの編集】

(a) GT Designer2 Version□での編集

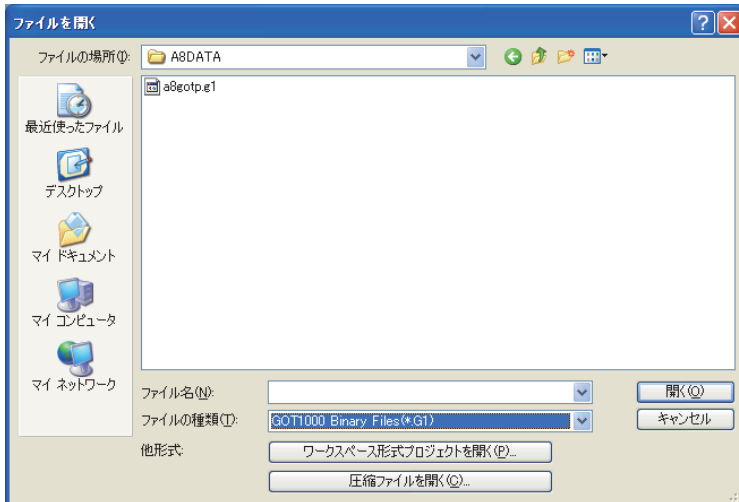
- ① GT Designer2 Version□を起動します。
- ② 『プロジェクト』 - 『開く』を選択します。
- ③ 『ファイルを開く』ダイアログの『ファイルの種類』で『GOT1000 Binary Files(*G1)』を選択します。
- ④ 編集したいファイルを選択して、『開く』をクリックします。
- ⑤ 任意の編集を実施して、『名前をつけて保存』することで、GOT1000シリーズ用のモニタ画面データ(GTEファイル)が作成されます。



※詳細は、GT Designer2 Version2 画面設計マニュアル(SH-080509)を参考にしてください。

(b) GT Designer3での編集

- ① GT Designer3を起動します。
- ② 『プロジェクト選択』のダイアログから『開く』を選択します。
- ③ 『プロジェクトを開く』ダイアログで、他形式『GT Designer2/G1形式ファイルを開く』ボタンをクリックします。
- ④ 『ファイルを開く』ダイアログの『ファイルの種類』で『GOT1000 Binary Files(*G1)』を選択します。
編集したいファイルを選択して、『開く』をクリックします。
- ⑤ 任意の編集を実施して、『名前をつけて保存』することで、GOT1000シリーズ用のモニタ画面データが作成されます。



※詳細は、GT Designer3 Version1 画面マニュアル(共通編)(SH-080836)を参考にしてください。

(2) GOT800シリーズのモニタ画面データが手元にないとき

GOT800シリーズの本体からのデータをアップロードしたあと、(1)のデータ変換を実施します。
GOT本体からのデータのアップロードは、GOT800シリーズ用の作画ソフトウェアSW3NIW-A8GOTP、またはデータ転送ツール(Data Transfer)を使用することでアップロードが可能です。

※GOT800シリーズ用作画ソフトウェアSW3NIW-A8GOTPの動作環境はWindows3.1およびWindows95です。

※データ転送ツール(Data Transfer)の対応するOSは、下記です。

- Windows 2000 Professional
- Windows XP Professional/Home Edition
- Windows Vista Ultimate/Enterprise/Business/Home Premium/Home Basic
- Windows7 Ultimate/Enterprise/Professional/Home Premium/Starter

※SW3NIW-A8GOTPは、弊社ホームページ 三菱電機FAサイトよりダウンロード可能です。

データ転送ツールは、GT Works2 Version2およびGT Works3 Version1に同梱、または弊社ホームページ 三菱電機FAサイトよりダウンロード可能です。

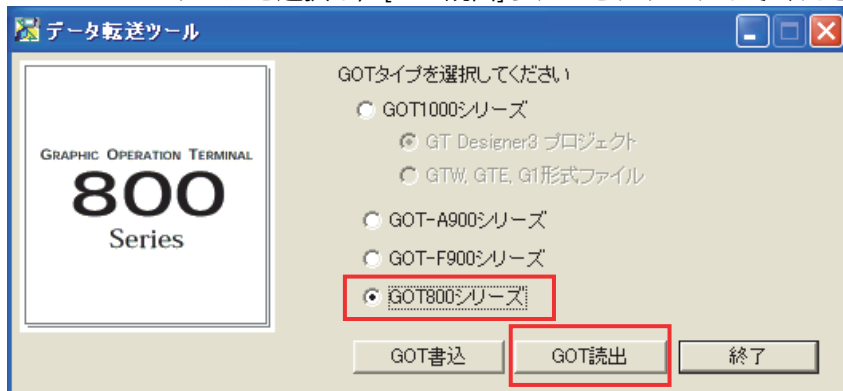
【A8GOTPでのデータのアップロードの方法】

SW3NIW-A8GOTP形作画設定ソフトウェアパッケージオペレーティングマニュアル(データ転送・デバック・ドキュメント作成編)(IB-68914)を参照してください。

【データ転送ツール(Data Transfer)でのアップロードの方法】

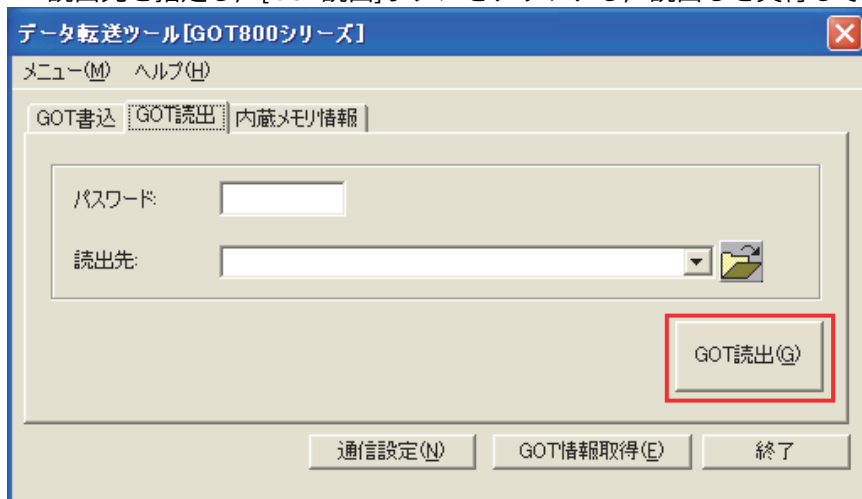
① データ転送ツール起動画面

GOT800シリーズを選択し、[GOT読出]ボタンをクリックしてください。



② GOT読出画面

読出先を指定し、[GOT読出]ボタンをクリックし、読出しを実行してください。



③ 読出し後、GT Converter2でGOT1000に変換してください。

→ 7.1.1 (1) GOT800シリーズのモニタ画面データが手元にあるとき

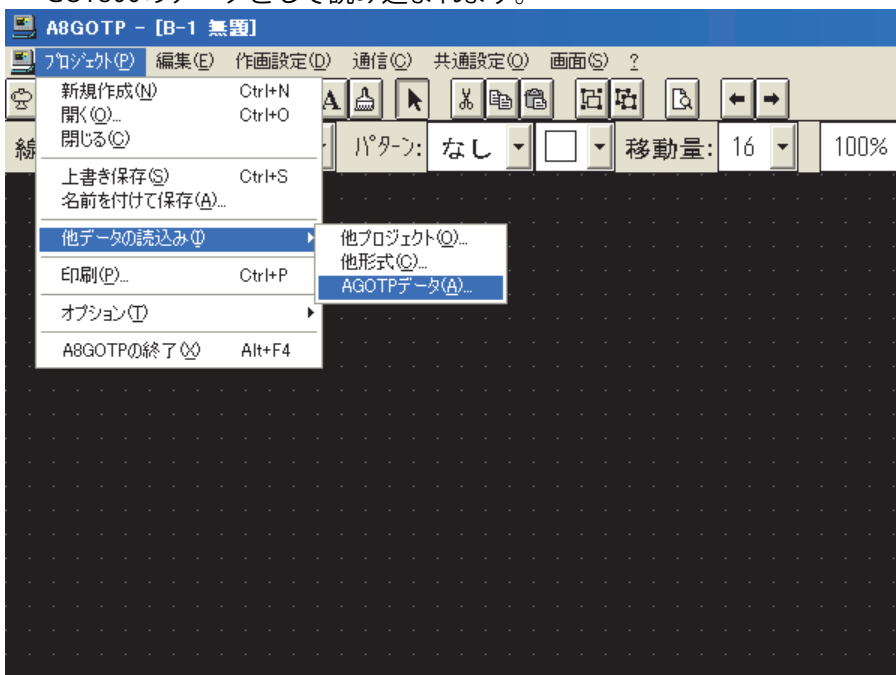
7.1.2 A77GOT→GOT1000シリーズへの変換方法

A77GOTシリーズで使用していたモニタ画面データは、GOT800シリーズ用の作画ソフトウェアSW3NIW-A8GOTPにて、一旦、GOT800シリーズのデータに置き換えた後、データ変換ソフト(GT Converter2 Version□)を使ってGOT1000シリーズ用のデータに変更することが可能です。

(1) A77GOTシリーズのモニタ画面データが手元にあるとき

A77GOT用のモニタ画面データを、GOT800シリーズ用の作画ソフトSW3NIW-A8GOTPでGOT800シリーズ用のデータに変換後、GT Converter2 Version□でGOT1000シリーズ用のデータに再変換してください。

- ① GOT用の画面データを準備してください。
- ② W3NIW-A8GOTPで、GOT800シリーズ用のデータに変換します。
A8GOTPにて[プロジェクト]-[他データの読み込み]-[AGOTPデータ]を選択します。
GOT800のデータとして読み込まれます。



- ③ [プロジェクト]-[名前をつけて保存]により、データを保存します。
- ④ GT Converter2 Version□でGOT1000に変換してください。
→ 7.1.1 (1) GOT800シリーズのモニタ画面データが手元にあるとき

(2) A77GOTシリーズのモニタ画面データが手元にないとき

A77GOT本体より、モニタ画面データをアップロードしてから、データの変換を実施します。
ただし、アップロードが可能なのは以下の条件をともに満たす場合です。

- ・ GOT本体がA77GOT-S5であること
- ・ データ中に含まれるGOTタイプが「A77GOT-S5」であること

A77GOT-S5以外の機種は、表示器本体からの読み出しは出来ません。パソコン、FDなどに保管してあるデータから置き換えていただくか、GOT1000用に新たに画面データを作成ください。

A77GOTからモニタ画面データのアップロードを実施するには、A77GOT用の作画ソフト(SW2SRX-AGOTP/SW2IVD-AGOTP/SW2NX-AGOTP)が必要です。

- ① A77GOT-S5からモニタ画面データをアップロードして保存します。
- ② SW3NIW-A8GOTPで、GOT800シリーズ用のデータに変換した後、GT Converter2 Version□でGOT1000に変換してください。
→ 7.1.2 (1) A77GOTシリーズのモニタ画面データが手元にあるとき

7.1.3 A64GOT→GOT1000シリーズへの変換方法

A77GOT用データの場合”と、同様操作にて置き換えます。

(1) A64GOTシリーズのモニタ画面データが手元にあるとき

A77GOTと同じ手順で変換してください。

→ 7.1.2 (1) A77GOTシリーズのモニタ画面データが手元にあるとき

(2) A64GOTシリーズのモニタ画面データが手元にないとき

A64GOTは、表示器本体からの読み出しは出来ません。パソコン、FDなどに保管してあるデータから置き換えていただくか、GOT1000用に新たに画面データを作成ください。

7.1.4 データ変換に際しての注意事項

A77GOT, A64GOTのデータを流用する場合、SW□□□-AGOTPで保存したときの状態で部品データが保存されていない場合(部品ファイルをほかのドライブに変更した場合、または部品ファイルのディレクトリを変更した場合)は、部品データを読み込みませんので注意してください。

部品ファイルをほかのドライブに変更したり、部品ファイルのディレクトリを変更している場合は、SW□□□-AGOTPで下記の操作を行ってください。

- ① 作画ソフトに開く従来品GOTデータを読み出す
- ② 部品ファイルを読み出す
- ③ 保存する

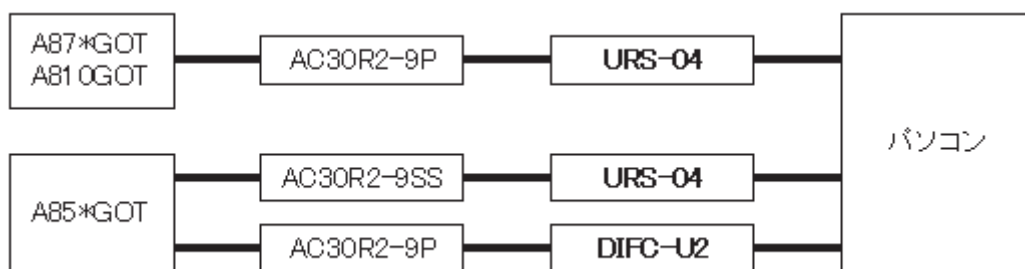
③で保存された従来品データを本操作で指定してください。

7.1.5 データ転送ツールとGOT800の通信で使用可能なUSBシリアルアダプタ

データ転送ツールでGOT800シリーズと画面データなどを、ダウンロード/アップロードできることを確認しています。

(接続可能品)

メーカー	機種
ダイヤトレンド(株)	DIFC-U2(USB/RS-232Cコンバータ)
プラネックスコミュニケーションズ(株)	URS-04(USB/シリアルアダプタ)



ケーブル形名	ケーブルピン
AC30R2-9SS	9ピン(メス)-9ピン(メス), AGOT用
AC30R2-9P	9ピン(メス)-25ピン(オス), AGOT用

USBシリアルアダプタは下記のパーソナルコンピュータで動作確認をしております。

- ・ Apricot CX

※Windows Vista/Windows7には対応していません。Windows Vista/Windows7においてはRS-232ケーブルをご使用ください。

7.2 モニタ画面データの互換性

7.2.1 データ互換一覧

GOT800, A77GOT, A64GOTシリーズの作画データをGOT1000シリーズの作画データに変換する場合、制約がつく機能や、一部変換できない機能があります。なお、A77GOT, A64GOTについては、一度GOT800シリーズ用作画ソフトウェア(SW3NIW-A8GOTP)を使用してGOT800のモニタ画面データに変換した後、GT Converter2 Version □でGOT1000シリーズ用の作画データに変換する必要があります。

GOT1000シリーズへの作画データの変換可否については下記表を参照してください。

表7-1 GOT1000シリーズへの作画データの変換可否一覧

◎：使用可能, ○：使用可能(一部設定変更が必要な場合有り),
△：変換不可だが再設定で使用可能, ×：使用不可, -：機能なし

機能	GOT1000シリーズでの 変換後の使用可否			備考(注意事項)			
	GOT 800	A77 GOT	A64 GOT				
データ 表示機能	数値表示	◎	○※1	○	1/4角文字は1倍に変換されるため、表示サイズを0.5倍に再設定する必要があります。 ※1:他のオブジェクト(例：トレンドグラフなど)と重なっている場合、本オブジェクトのレイヤーを「前面」に設定してください。		
	アスキー表示	◎	○※1	○			
	文字列表示	-	○※1	◎			
	コメント表示	◎	-	-			
	時計表示	◎	○※1	◎			
	アラームリスト表示	◎	○※1	-			
	アラーム履歴表示	◎	-	-			
	レベル表示	◎	◎	◎			
	ランプ表示	◎	-	-			
	パネルメータ	◎	-	-			
	部品表示	◎	◎	◎		部品番号を変更しない部品表示設定のみ使用不可。 (実質的にあり得ない設定)	
	移動(部品移動)	◎	◎	◎			
	軌跡(部品移動)	◎	◎	◎			
エラー警告表示	-	△	△	アラームリスト表示機能で再設定が必要です。			
ブロック データ表示	数値	-	○	○	複数の数値表示、アスキー表示に変換されます。 1/4角文字は1倍に変換されるため、表示サイズを0.5倍に再設定する必要があります。		
	アスキー	-	○	○			
データリスト表示	◎	-	-	-			
グラフ 表示機能	トレンド グラフ	スクロール	◎	○	○	1グラフにつき8本まで変換されます。 9～16本のグラフは、新たにグラフの設定が必要です。	
		一括	◎	△	△		折れ線グラフ機能の周期トリガで再設定が必要です。
		重書き	-	×	-		GOT1000シリーズには本機能はありません。*
	折れ線グラフ	◎	◎	◎	-		
	棒グラフ	ノーマル	◎	◎	◎	-	
		累積	-	×	-	GOT1000シリーズには本機能はありません。	
	帯グラフ	-	-	△	統計グラフで再設定が必要です。		
円グラフ	-	△	-	統計グラフで再設定が必要です。			

三菱電機グラフィックオペレーションターミナル テクニカルニュース[30/34]

[発行番号] GOT-D-0018-H

機能		GOT1000 シリーズでの 変換後の使用可否			備考(注意事項)
		GOT 800	A77 GOT	A64 GOT	
グラフ 表示機能	散布グラフ	-	△	△	GOT800シリーズには本機能がありませんので、A77GOT、A64GOTシリーズのデータを変換する場合、GT Desinger2で再設定が必要です。
	スプライングラフ	-	×	-	GOT1000シリーズには本機能はありません。
データ 入力機能	数値入力	◎	○※1	◎	※1:他のオブジェクト(例：トレンドグラフなど)と重ねている場合、本オブジェクトのレイヤーを「前面」に設定してください。
	アスキー入力	◎	○※1	◎	
タッチ スイッチ機 能	SET/RST	○※2	◎	◎	※2:動作を重複して設定しているときは再設定が必要です。
	反転	○※2	◎	◎	
	スイッチ	○※2	◎	◎	
レポート機能		◎	△	-	A77GOTで設定している場合、再設定が必要です。
システム情報		◎	◎	-	-
操作パネル機能		◎	△※3	△※3	※3:再設定が必要です。
アナウンス機能		-	△	-	アラーム履歴表示機能で再設定し、代用可能です。
状態監視機能		◎	-	-	-
タイムアクション機能		-	△	-	GOT800シリーズには本機能がありませんので、A77GOT、A64GOTシリーズのデータを変換する場合、GT Desinger2で再設定が必要です。
スナップショット機能、ハードコピー機能		◎	△※4	-	※4:メモリカードデータをパソコンで表示したり、印刷することが可能です。(GOT本体では対応せず)
パスワード		◎	◎	-	-
図形 データ	直線、連続直線、長方形、多角形、円、円弧	◎	◎	◎	-
	塗り込み長方形、塗り込み楕円	○	○	○	塗り込みパターン2は、パターン1に変換されます。
	楕円	○	○	○	32ドット以下の楕円は32ドットに変換されます。GOT1000作画にてサイズ変更が必要です。
文字 データ	グラフィック	◎	◎	◎	他のオブジェクト(例：トレンドグラフ)と重ねている場合、文字は必ずオブジェクトより背面となります。
	テキスト	◎	○	-	GOT1000シリーズは、文字表示が高速のためグラフィック文字に変換されています。 ただし、反転属性のデータは正転に変換されるため、背景に塗り込み長方形を描画して文字属性を黒に変更する必要があります。
	外字	-	△	△	シンボル部品で代替可能です。
コメントデータ		○	○	○	コメント番号0は別番号に移動して使用します。
部品データ		◎	◎	◎	-
特殊キー		◎	△※5	△※5	※5:再設定が必要です。
画面切換え		◎	◎	◎	-
プリンタ機種指定		○	○	-	PictBridge対応プリンタおよびシリアルプリンタをサポートしています。(NECプリンタ(PC-PRプリンタ)は使用不可)
バックライトOFF時間設定		○	○	-	GOT1000シリーズ本体で設定できます。
GOT本体の スイッチ機 能	ファンクションキー、 矢印キー(カーソルキー)、 リターンキー、 システムプロテクトスイッチ、 非常停止ボタン	-	×	×	GOTの画面上にタッチスイッチとして作成するか、外部入出力インタフェースユニットを使用してスイッチを作成する必要があります。

7.2.2 GOT800シリーズとGOT1000シリーズのモニタ画面データの互換性

(1) 互換性に関する注意事項

GOT800シリーズからGOT1000シリーズにデータを変換した場合、基本的に上位互換となっていますが、一部の機能においてシーケンスプログラムや作画データなどの変更が必要になります。

シーケンスプログラムや作画データの変更が必要な機能を下記に示します。

表7-2 シーケンスプログラムや作画データの変更が必要な機能一覧

項目	内容	GOT800シリーズから GOT1000 シリーズに移行する場合の処置方法																								
部品表示	<p>「描画モード」-「XOR表示」を設定している場合、重ねた図形をグループ化した部品の表示が下記のように異なります。</p> <p>GOT800シリーズ：グループ化した図形をまとめて一度にXORして表示します。</p> <p>GOT1000シリーズ：グループ化した図形を重ねた順に1個ずつXORで表示します。</p> <p>GOT800シリーズで「描画モード」-「XOR表示」を設定している場合、パターン種8(塗り潰し)で線色とパターン色を同じにすると、GOT1000シリーズでは部品の外側が1ドット小さく表示されます。</p> <p>GOT800シリーズ(16色の機種)で「描画モード」-「XOR表示」を設定している場合、変換したデータをGOT1000シリーズ(16色の機種)で表示すると、重なった部分の色が暗い色合いになります。(GOT1000シリーズの65536色の機種に表示色を合わせています。)</p> <p><例></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>使用するGOT</th> <th>図形の色</th> <th>部品の色</th> <th>重なった部分の色</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>GOT800(16色)</td> <td>青</td> <td>白</td> <td>黄</td> </tr> <tr> <td>GOT1000(16色)</td> <td>青</td> <td>白</td> <td>暗黄</td> </tr> <tr> <td>GOT1000(65536色)</td> <td>青</td> <td>白</td> <td>黄</td> </tr> </tbody> </table>	使用するGOT	図形の色	部品の色	重なった部分の色	GOT800(16色)	青	白	黄	GOT1000(16色)	青	白	暗黄	GOT1000(65536色)	青	白	黄	<p>システム環境の補助設定で、グループ化した図形をまとめて一度にXOR表示するように設定が必要です。</p> <p>重なった部分の色が暗い色合いになっても良い場合は、設定を変更する必要はありません。</p> <p>重なった部分の色を暗い色合いにしたくない場合は、部品の色を暗い色合いに設定してください。(部品の色、重なった部分の色のどちらかが、必ず暗い色合いになります。)</p> <p><左記例の場合></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>使用するGOT</th> <th>図形の色</th> <th>部品の色</th> <th>重なった部分の色</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>GOT1000(16色)</td> <td>青</td> <td>暗白</td> <td>黄</td> </tr> </tbody> </table>	使用するGOT	図形の色	部品の色	重なった部分の色	GOT1000(16色)	青	暗白	黄
使用するGOT	図形の色	部品の色	重なった部分の色																							
GOT800(16色)	青	白	黄																							
GOT1000(16色)	青	白	暗黄																							
GOT1000(65536色)	青	白	黄																							
使用するGOT	図形の色	部品の色	重なった部分の色																							
GOT1000(16色)	青	暗白	黄																							
部品移動	<p>GOT800シリーズの「部品移動」機能で「部品指定方法」の「間接」を設定している場合、デバイス値が負の数値や、表示範囲外になった時、使用するGOTによって表示が異なります。</p> <p>GOT800シリーズ：部品を表示しません。</p> <p>GOT1000シリーズ：部品を表示します。</p>	<p>「部品移動」機能で「間接」を設定していなければ問題ありません。</p> <p>また、「間接」を設定していても、デバイス値が負の数値や「表示範囲」外にならなければ問題ありません。</p> <p>デバイス値が負の数値になる場合や、「表示範囲」外になる場合、部品番号を「0」にして「表示範囲」外を設定してください。(「表示部品」の番号を「0」にすることで部品は表示しなくなります。)</p>																								
タッチスイッチ	<p>タッチスイッチの動作を重複して設定している時の優先順位が、使用するGOTにより異なります。</p> <p>GOT800シリーズ：ワードSET → ビットSET</p> <p>GOT1000シリーズ：ビットSET → ワードSET</p>	<p>タッチスイッチの動作順序変更を変更する必要があります。</p>																								

項目	内容	GOT800 シリーズから GOT1000 シリーズに移行する場合の処置方法
システム情報 「変更前, 変更後値」	16ビット符号付きBINの数値入力にて, マイナス値を入力すると, システム情報の変更前値, 変更後値の値が使用するGOTによって異なります。 例: 数値入力する前値: 「-1」 数値入力値: 「-2」 <GOT800シリーズのシステム情報> 変更前値 「0X0000FFFF」 変更後値 「0X0000FFFE」 <GOT1000シリーズのシステム情報> 変更前値 「0XFFFFFFF」 変更後値 「0XFFFFFFFE」	16ビット符号付きBINの数値入力にて, マイナス値を入力しなければ問題ありません。 また, シーケンスプログラムでシステム情報の変更前値を16ビットとして参照している場合は, 問題ありません。 。シーケンスプログラムでシステム情報の変更前値を32ビットで参照している場合は, 下位16ビットを取り出して参照してください。
システム情報 「自動スクリーンセーブ無効信号(b0), 強制スクリーンセーブ信号(b1)」	GOT1000シリーズは, b1(強制スクリーンセーブ信号: 強制的にスクリーンセーブする信号)の動作をb0(自動スクリーンセーブ無効信号: スクリーンセーブを無効にする信号)より優先しました。 そのため, b0, b1が両方ONしている場合, 使用するGOTによって動作が異なります。 <b0, b1両方がONした場合の動作> GOT800シリーズ スクリーンセーブで表示が消え, 同時にバックライトも消灯します。 GOT1000シリーズ 表示は消えず, バックライトも消灯しません。	強制スクリーンセーブ信号(b1)と自動スクリーンセーブ無効信号(b0)を使用して, バックライトON/OFFをしている場合, シーケンスプログラム等を変更する必要があります。

7.2.3 A77GOT, A64GOTシリーズとGOT1000シリーズのモニタ画面データの互換性

A77GOT, A64GOTのデータをGOT1000シリーズへ変換する場合, 一度GOT800シリーズのデータに変換した後, GT Converter2 Version□にて, GOT1000シリーズのデータに変換します。
GOT800シリーズのデータを介するため, データの互換性はGOT800シリーズの互換性に準じます。

7.3 新たに設定が必要となる機能

表7-3 新たに設定が必要となる機能

項目	機能	お客様での作業	
共通設定	接続機器設定	FA機器との接続に使用するI/FのCH No, ドライバ, 通信ポーレート等を新たに設定する必要があります。 設定方法の詳細は, 下記マニュアルを参照してください。 → GT Designer2 Version2 画面設計マニュアル(SH-080509)の3.7節 通信インタフェースの設定(接続機器設定) GOT1000シリーズ接続マニュアル GT Works3対応(SH-080838~SH-080841)	
プリンタ	プリンタ機能	PictBridge対応プリンタ	作画ソフトウェアGT Designer2 Version2(Ver2.25B以降)またはGT Works3 Version1(Ver1.00A以降)が必要となります。プリンタユニット(GT15-PRN)が別途必要となります。また, 拡張機能OS「プリンタ」または「プリンタ(PictBridge)」をGOTにインストールする必要があります。
		シリアルプリンタ	作画ソフトウェアGT Works3 Version1(Ver1.15R以降)が必要となります。また, 拡張機能OS「プリンタ(シリアル)」をGOTにインストールする必要があります。
オブジェクト	レポート機能	レポート機能を使用する場合, 上記のプリンタ項目への対応と, 拡張機能OS(レポート)をGOTにインストールする必要があります。	
音声	音声機能	音声機能を使用する場合, 音声出力ユニット(GT15-SOUT)が別途必要となります。また, 拡張機能OS(音声出力)をGOTにインストールする必要があります。	

7.3.1 プリンタ

GOT800, A77GOTシリーズでプリンタをご使用の場合は、下記の点にご注意ください。

(1) プリンタの種類

GOT800シリーズ, A77GOTシリーズは、パラレルプリンタのみサポートしています。GOT1000シリーズではPictBridge対応プリンタおよびシリアルプリンタをサポートしています。したがって、GOT800シリーズ, A77GOTシリーズからGOT1000シリーズへ置き換えの際には、プリンタの変更が必要です。GOT1000シリーズで対応しているプリンタ機種(動作確認機種)は、下記のテクニカルニュースを参照してください。

テクニカルニュースは、三菱電機FAサイトからダウンロードできます。

→ GOT1000シリーズ動作確認機器一覧 (GOT-D-0001)

(2) 必要となるユニット

(a) PictBridge対応プリンタの場合

プリンタユニットGT15-PRNが別途必要となります。

(b) シリアルプリンタの場合

オプションユニットは不要です。GOT本体のRS-232インターフェースに接続します。

(3) レポート機能

PictBridge対応プリンタ使用時は、レポート形式に「ロギング改頁」をサポートします。

シリアルプリンタ使用時は、レポート形式に「リアルタイム連続」をサポートします。

副番	発行年月	改訂内容
A	2008年 2月	・ 初版発行
B	2008年 8月	・ 記載内容を追加および誤記を修正した。
C	2008年11月	・ 記載内容を追加および誤記を修正した。
D	2009年 2月	・ GT16シリーズを追加した。
E	2010年 2月	・ 誤記を修正した。
F	2010年 8月	・ 「2. GOT本体の機種選定」の内容を修正した。 ・ 「3. 通信ユニット・オプション」のプリンタの項目にシリアルプリンタの記載を追加しました。 ・ 「4.1.2 複数台バス接続時のGOTの置き換え」の記載を見直しました。 ・ 「7. モニタ画面データ」の内容を修正した。
G	2011年 9月	・ 「4.1.1 現在ご使用中のケーブルの活用」の誤記を修正した。
H	2019年12月	・ Aバス接続から他の通信形態への置換情報を追加した。 ・ 誤記を修正した。

三菱電機グラフィックオペレーションターミナル テクニカルニュース[34/34]

[発行番号] GOT-D-0018-H

三菱電機株式会社 〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3 (東京ビル)

お問い合わせは下記へどうぞ

本社機器営業部	〒110-0016 東京都台東区台東1-30-7 (秋葉原アイマークビル)	(03) 5812-1450
北海道支社	〒060-8693 札幌市中央区北二条西4-1 (北海道ビル)	(011) 212-3794
東北支社	〒980-0013 宮城県仙台市青葉区花京院1-1-20 (花京院スクエア)	(022) 216-4546
関東支社	〒330-6034 さいたま市中央区新都心11-2 (明治安田生命さいたま新都心ビルランド・アクセス・タワー34F)	(048) 600-5835
新潟支店	〒950-8504 新潟市中央区東大通2-4-10 (日本生命ビル)	(025) 241-7227
神奈川支社	〒220-8118 横浜市西区みなとみらい2-2-1 (横浜ランドマークタワー)	(045) 224-2624
北陸支社	〒920-0031 金沢市広岡3-1-1 (金沢パークビル)	(076) 233-5502
中部支社	〒450-6423 名古屋市中村区名駅3-28-12 (大名古屋ビルヂング22F)	(052) 565-3314
豊田支店	〒471-0034 豊田市小坂本町1-5-10 (矢作豊田ビル)	(0565) 34-4112
関西支社	〒530-8206 大阪市北区大深町4-20 (グランフロント大阪タワーA)	(06) 6486-4122
中国支社	〒730-8657 広島市中区中町7-32 (ニッセイ広島ビル)	(082) 248-5348
四国支社	〒760-8654 高松市寿町1-1-8 (日本生命高松駅前ビル)	(087) 825-0055
九州支社	〒810-8686 福岡市中央区天神2-12-1 (天神ビル)	(092) 721-2247

三菱電機 FA
検索

www.MitsubishiElectric.co.jp/fa

メンバー登録無料!

インターネットによる情報サービス「三菱電機FAサイト」

三菱電機FAサイトでは、製品や事例などの技術情報に加え、トレーニングスクール情報や各種お問い合わせ窓口をご提供しています。また、メンバー登録いただくとマニュアルやCADデータ等のダウンロード、eラーニングなどの各種サービスをご利用いただけます。

三菱電機FA機器電話、FAX技術相談

●電話技術相談窓口 受付時間*1 月曜～金曜 9:00～19:00、土曜・日曜・祝日 9:00～17:00

対象機種	電話番号	対象機種	電話番号
自動窓案内	052-712-2444	MELSERVOシリーズ	
エッジコンピューティング製品	052-712-2370*2	位置決めユニット (MELSEC IQ-R/Q/L/AnSシリーズ)	
MELSEC IQ-R/Q/L/OnAS/AnS シーンサ (CPU内蔵Ethernet機能などネットワークを除く)	052-711-5111	モーションユニット (MELSEC IQ-Rシリーズ)	
MELSEC IQ-F/FX シーンサ全般	052-725-2271*3	シンプルモーションユニット (MELSEC IQ-R/IQ-F/Q/Lシリーズ)	
ネットワークユニット (CC-Linkファミリ- / MELSECNET / Ethernet / シリアル通信)	052-712-2578	モーションCPU (MELSEC IQ-R/Q/AnSシリーズ)	052-712-6607
MELSOFT シーンサ エンジニアリングソフトウェア	052-711-0037	センシングユニット (MR-MITシリーズ)	
MELSOFT 統合エンジニアリング環境	052-799-3591*4	シンプルモーションボード / ポジションボード	
IQ Sensor Solution		MELSOFT MTシリーズ / MRシリーズ/EMシリーズ	
MELSOFT 通信支援ソフトウェア	052-712-2370*2	センサレスサーボ	052-722-2182
MELSECパソコンボード	052-712-2370*2	インバータ	052-722-2182
C言語コントローラ		三相モータ	0536-25-0900*2*4
MESインタフェースユニット/高速データロガーユニット	052-799-3592*2	産業用ロボット	052-721-0100
MELSEC計装/IQ-R/Q二重化	052-712-2830*2*5	電磁クラッチ・ブレーキ/テンションコントローラ	052-712-5430*5
MELSEC Safety	052-712-3079*2*5	データ収集アナライザ	052-712-5440*5
電力計測ユニット/絶縁監視ユニット	052-719-4557*2*5	低圧開閉器	052-719-4170
FAセンサ MELSENSOR	052-799-9495*2	低圧遮断器	052-719-4559
表示器 GOT	052-712-2417	電力管理用計器	052-719-4556
SCADA MC Works64	052-712-2962*2*6	省エネ支援機器	052-719-4557*2*5
		小容量UPS (5kVA以下)	052-799-9489*2*6

お問い合わせの際には、今一度電話番号をお確かめの上、お掛け間違いのないようお願い致します。
 ※1：春季・夏季・年末年始の休日を除く ※2：土曜・日曜・祝日を除く ※3：金曜は17:00まで ※4：月曜～木曜の9:00～17:00と金曜の9:00～16:30
 ※5：受付時間9:00～17:00 (土曜・日曜・祝日・当社休日を除く) ※6：月曜～金曜9:00～17:00

●FAX技術相談窓口 受付時間 月曜～金曜 9:00～16:00 (祝日・当社休日を除く)

対象機種	FAX番号
電力計測ユニット/絶縁監視ユニット (QEシリーズ/REシリーズ)	084-926-8340
三相モータ225フレーム以下	0536-25-1258*7
低圧開閉器	0574-61-1955
低圧遮断器	084-926-8280
電力管理用計器/省エネ支援機器/小容量UPS (5kVA以下)	084-926-8340

三菱電機FAサイトの「仕様・機能に関するお問い合わせ」もご利用ください。
 ※7：月曜～木曜の9:00～17:00と金曜の9:00～16:30 (祝日・当社休日を除く)

安全に関するご注意

本テクニカルニュースに記載された製品を正しくお使いいただくためご使用前に必ず「マニュアル」をよくお読みください。